

越前町立地適正化計画

計 画 書

平成 29 年 3 月

越 前 町

目 次

| | |
|-----------------------------|----|
| 序章 越前町立地適正化計画とは | 1 |
| 1. 計画の役割と位置づけ | 1 |
| 2. 計画の構成 | 4 |
| 第1章 基礎調査 | 5 |
| 1. 越前町の概況 | 5 |
| 2. 人口動態 | 8 |
| 3. 都市基盤の整備状況 | 15 |
| 4. 主要な都市機能の分布状況と生活圏 | 26 |
| 5. 一団の未利用地の分布状況 | 36 |
| 6. 地価の状況 | 38 |
| 7. 災害上の危険性が懸念される区域の状況 | 41 |
| 8. 将来人口の見通し | 43 |
| 第2章 上位計画・関連計画の整理 | 57 |
| 1. 上位計画・関連計画の整理 | 57 |
| 2. 財政の見通しの整理 | 73 |
| 第3章 都市づくりの課題 | 75 |
| 第4章 基本方針 | 76 |
| 1. 都市づくりの理念、目標 | 76 |
| 2. 都市づくりの方針 | 78 |
| 第5章 居住誘導区域、都市機能誘導区域 | 83 |
| 1. 居住誘導区域 | 83 |
| 2. 都市機能誘導区域 | 85 |
| 3. 地区別の誘導・区域設定方針 | 88 |
| 第6章 実現方策の検討 | 97 |
| 1. 居住及び都市機能を誘導するための施策 | 97 |
| 2. 目標値の設定 | 98 |
| 3. 計画の達成状況に関する評価方法 | 98 |

序章 越前町立地適正化計画とは

1. 計画の役割と位置づけ

我が国の地方都市の多くは、高度経済成長期における人口増加とモータリゼーションの進行に伴って、低密度な市街地が拡大しました。また、自動車に偏った交通環境は、公共交通のネットワークや運行便数の減少等のサービス水準の低下を招き、さらなる公共交通の衰退につながっています。

今後の人口減少、高齢化の進行に対応し、持続性のある都市環境を形成するには、コンパクトなまちづくりとこれと連携した公共交通ネットワークを形成することが求められています。

そのためには、高齢者でも外出しやすく健康で快適な生活ができること、子育て世代などの若年層にとって魅力的であること、財政面、経済面で持続可能な都市計画が可能であること、さらに災害に強く安全で安心なまちづくりが必要になっています。

立地適正化計画は、日常生活に必要な医療、福祉、子育て支援、商業及び居住機能がコンパクトにまとまっており、公共交通によってこれらの機能を便利で快適に利用できる「コンパクトシティ・プラス・ネットワーク」を実現するため、都市機能や居住機能の誘導に関する方針や区域を設定し、穏やかなコントロール手法により、一定の区域に誘導するものです。

<制度の概要>

立地適正化計画では、都市全体のおおむね 20 年後の姿を展望し、居住や都市機能を誘導する区域を設定するとともに、これらを誘導するための施策等を記載します。

<立地適正化計画で定める事項>

●計画の区域

都市計画区域全体を立地適正化計画区域とします。複数の都市計画区域がある場合、すべての都市計画区域を対象とします。

●立地適正化計画の基本的方針

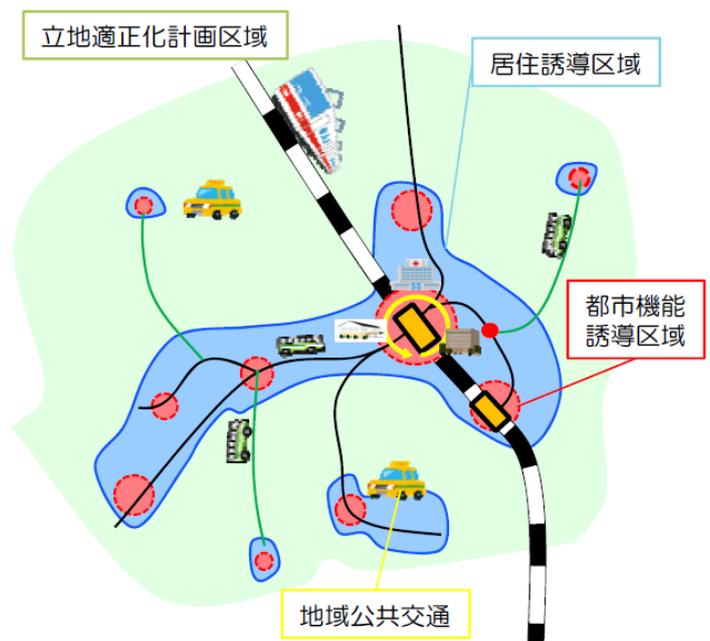
計画により実現を目指すべき将来の都市像を示すとともに、計画の総合的な達成状況を的確に把握するための定量的な目標を設定します。

●居住誘導区域

一定エリアにおいて人口密度を維持することにより、生活サービスやコミュニティが持続的に確保されるよう、居住を誘導すべき区域です。

●都市機能誘導区域

医療、福祉、子育て支援、商業等の都市機能を、都市の中心拠点や生活拠点に誘導し集約することにより、これらのサービスの効率的な提供を図る区域です。



立地適正化計画については、都市再生特別措置法や都市計画運用指針により、その位置づけや計画に記載すべき内容が示されています。

都市再生特別措置法 第八十一条

市町村は、都市計画法第四条第二項に規定する都市計画区域内の区域について、都市再生基本方針に基づき、住宅及び都市機能増進施設（医療施設、福祉施設、商業施設その他の都市の居住者の共同の福祉又は利便のため必要な施設であつて、都市機能の増進に著しく寄与するものをいう。以下同じ。）の立地の適正化を図るための計画（以下「立地適正化計画」という。）を作成することができる。

- 2 立地適正化計画には、その区域を記載するほか、おおむね次に掲げる事項を記載するものとする。
 - 一 住宅及び都市機能増進施設の立地の適正化に関する基本的な方針
 - 二 都市の居住者の居住を誘導すべき区域（以下「居住誘導区域」という。）及び居住環境の向上、公共交通の確保その他の当該居住誘導区域に都市の居住者の居住を誘導するために市町村が講ずべき施策に関する事項
 - 三 都市機能増進施設の立地を誘導すべき区域（以下「都市機能誘導区域」という。）及び当該都市機能誘導区域ごとにその立地を誘導すべき都市機能増進施設（以下「誘導施設」という。）並びに必要な土地の確保、費用の補助その他の当該都市機能誘導区域に当該誘導施設の立地を誘導するために市町村が講ずべき施策に関する事項（次号に掲げるものを除く。）
 - 四 都市機能誘導区域に誘導施設の立地を図るために必要な次に掲げる事業等に関する事項
 - イ 誘導施設の整備に関する事業
 - ロ イに掲げる事業の施行に関連して必要となる公共公益施設の整備に関する事業、土地区画整理事業その他国土交通省令で定める事業
 - ハ イ又はロに掲げる事業と一体となってその効果を増大させるために必要な事務又は事業
 - 五 第二号若しくは第三号の施策又は前号の事業等の推進に関連して必要な事項
 - 六 前各号に掲げるもののほか、住宅及び都市機能増進施設の立地の適正化を図るために必要な事項

都市計画運用指針 立地の適正化に関する基本的な方針

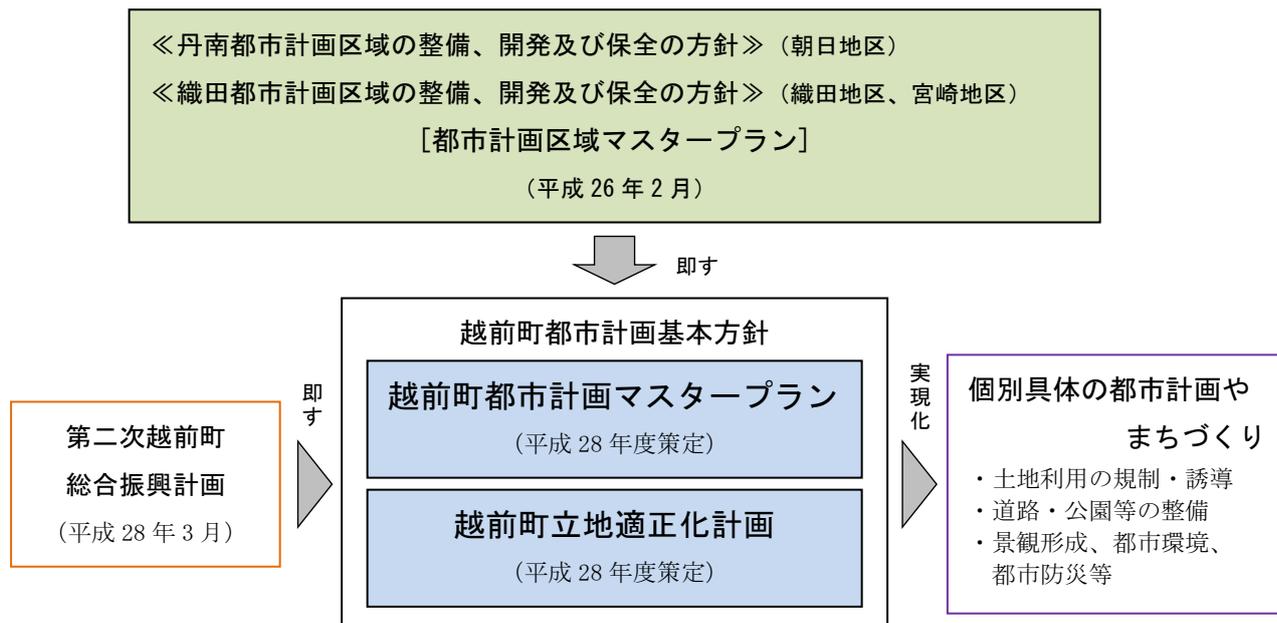
立地適正化計画を策定する際は、当該市町村の現状の把握・分析を行い、課題を整理することがまず必要となる。その上で、中長期的に都市の生活を支えることが可能となるようなまちづくりの理念や目標、目指すべき都市像を設定することが必要である。あわせて、その実現のための主要課題を整理し、一定の人口密度の維持や、生活サービス機能の計画的配置及び公共交通の充実のための施策を実現するうえでの基本的な方向性を記載することが考えられる。

■計画の位置づけ

立地適正化計画は、市町村が都市全体の観点から作成する、医療、福祉、子育て支援、商業及び居住等の機能の立地と公共交通の充実に関する包括的なマスタープランです。

このため、越前町総合振興計画や丹南都市計画区域の整備、開発及び保全の方針、織田都市計画区域の整備、開発及び保全の方針に即したものであるとともに、越前町の都市計画基本方針として、越前町都市計画マスタープランと整合したものになります。

<立地適正化計画の位置づけ>



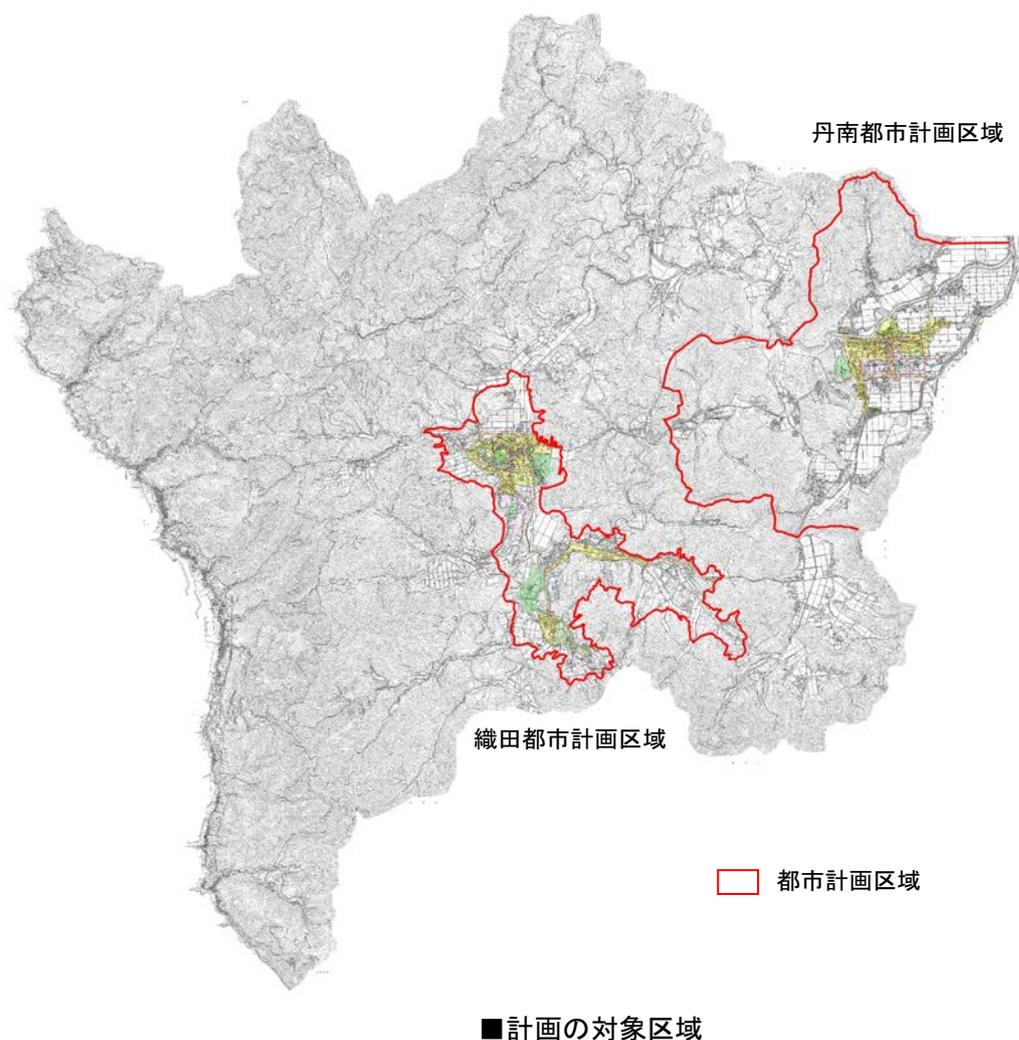
2. 計画の構成

(1) 計画の対象区域

越前町には、丹南都市計画区域と織田都市計画区域があり、町全域の約2割が都市計画区域に指定されています。また、町の人口の約6割が都市計画区域に居住しています。

計画の対象区域は、都市計画区域を基本とし、1つの市町村に複数の都市計画区域がある場合には、すべての都市計画区域を対象にすることが基本になっています。

本計画では、本町全体における都市機能、居住機能の誘導に関する方針や区域を設定するものとし、2つの都市計画区域を計画の対象区域とします。



(2) 計画の目標年次

都市計画は、その目標の実現に時間を要します。越前町都市計画マスタープランでは、長期的な視点に立った都市計画の基本方針として、概ね20年後の平成47年度を目標年次としています。

本計画では、都市計画マスタープランに基づいて計画を推進することから、概ね20年後を展望した上で、概ね10年後に必要な居住や都市機能を誘導する区域などについて検討します。

第1章 基礎調査

1. 越前町の概況

(1) 広域的位置づけ

越前町は、福井県嶺北地方の西端に位置し、東西 17.8km、南北 17.2km、面積 152.96 km²で、西は日本海に面し、東は鯖江市、南は越前市、南越前町、北は福井市にそれぞれ接しています。

地勢的には、その大半が丹生山地に属し、全体的に標高は高く、沿岸部から北部にかけて 500m 級の山々が連なっています。このため、林野率は 74.8%と高く、東部に広がる越前平野を除けば、中央部の織田盆地や宮崎盆地などに小規模な平地を残すのみで、耕地面積は少なくなっています。また、沿岸部の山を分水嶺として、東側は大半が天王川流域で、沿岸部は梅浦川など複数の小河川の流域となっています。天王川流域では、山地の間を縫うように小規模な谷や盆地、河川が入り組んでいます。



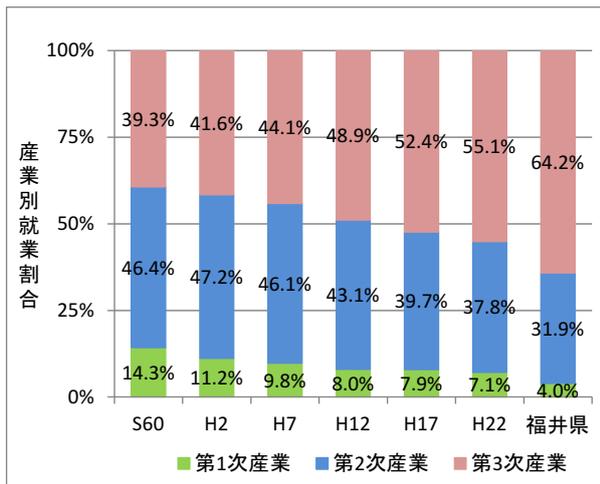
(2) 産業

①産業別就業構造

平成 22 年における就業者の合計は、11,552 人となっています。

産業別の割合をみると、第 1 次産業と第 2 次産業が減少し、第 3 次産業が増加しており、産業構造の高次化が進んでいます。

福井県平均と比較すると、第 1 次産業と第 2 次産業の割合が高くなっています。



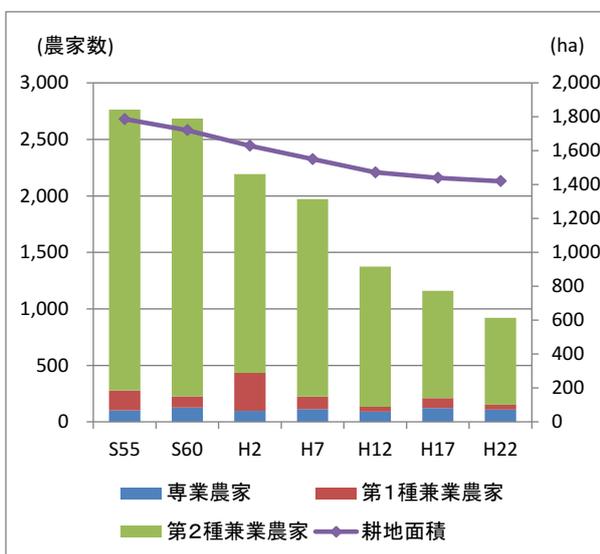
資料：国勢調査

■産業別就業割合の推移

②農業

平成 22 年における販売農家数は 922 戸で、減少傾向が続いており、昭和 55 年時点の約 3 割となっています。

耕地面積も減少傾向にあり、昭和 55 年時点から約 2 割減少しています。



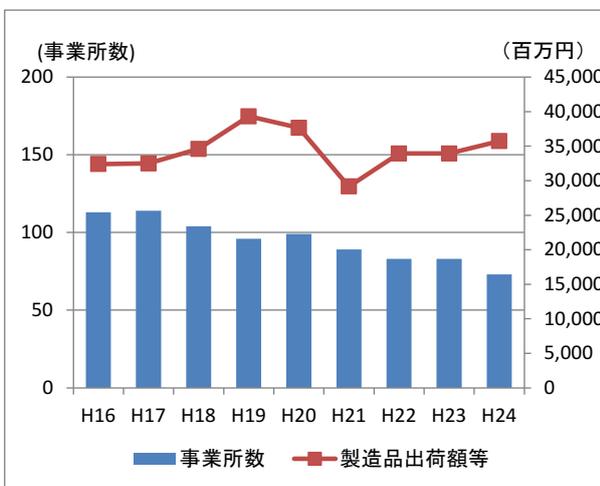
資料：農林業センサス、福井作物統計

■農家数、耕地面積の推移

③工業

平成 22 年の事業所数は 73 件で、減少傾向が続いています。

製造品出荷額等は、約 350 億円となっており、最近 10 年は増減もみられますが、ほぼ横ばいになっています。



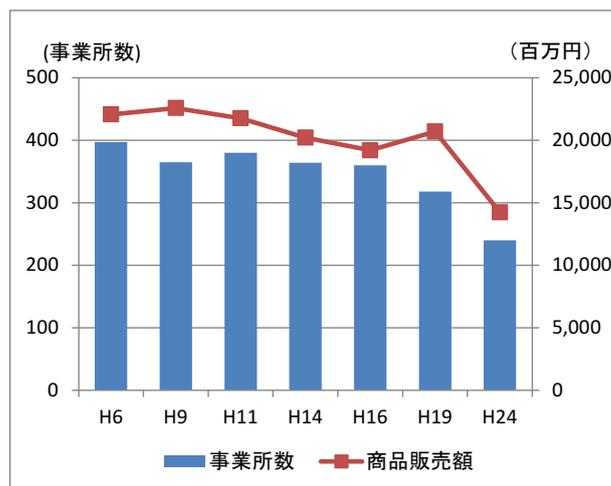
資料：福井県の工業

■事業所数、製造品出荷額等の推移

④商業

平成 24 年の事業所数は、240 件で、減少傾向にあります。

商品販売額は、約 140 億円となっており、平成 19 年には一度増加したものの、経年的には減少傾向を示しています。



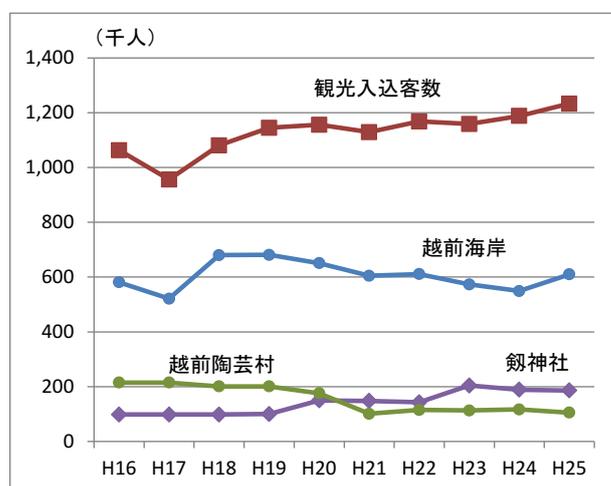
資料：福井県の商業

■事業所数、商品販売額の推移

⑤観光

観光入込客数は、近年増加傾向を示しており、平成 25 年には 1,233 万となっています。

主要観光地である「越前海岸」、「劔神社」、「越前陶芸村」の観光入込客数は、ともに概ね横ばい傾向にあります。



資料：福井県観光入込数（推計）

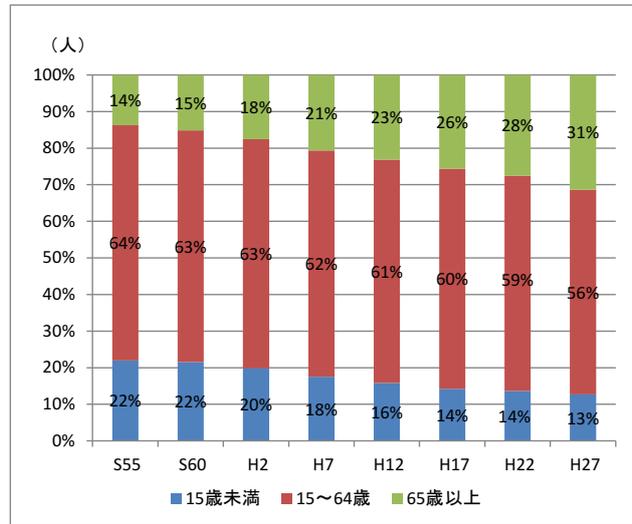
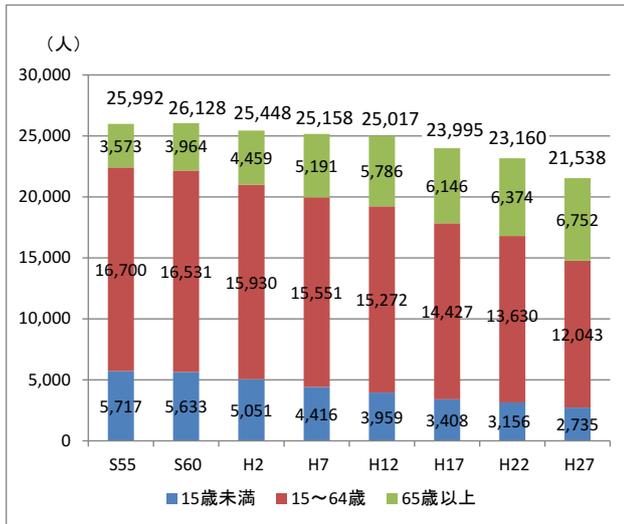
■観光入込客数の推移

2. 人口動態

(1) 人口・世帯数の動向

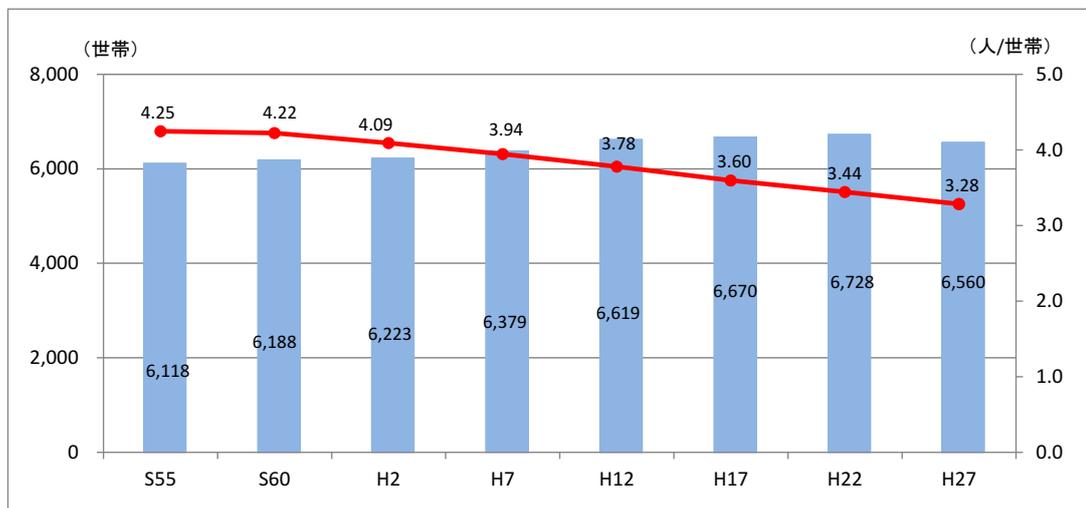
本町の平成 27 年国勢調査の人口は、21,538 人であり、昭和 60 年をピークに減少を続けています。少子高齢社会の進行により、高齢化が進行しており、高齢化率（65 歳以上人口の割合）は 31% になっています。

これまで増加してきた世帯数は、平成 22 年をピークとして減少に転じています。世帯規模は、縮小傾向が続いています。



※実績値：国勢調査

■人口の推移



※実績値：国勢調査

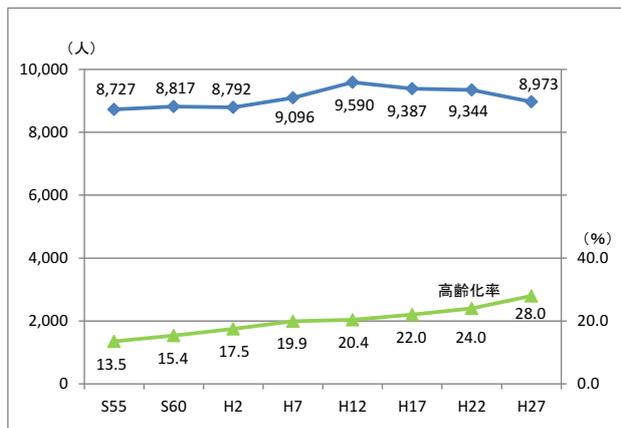
■世帯数、世帯規模の推移

(2) 地区別人口の動向

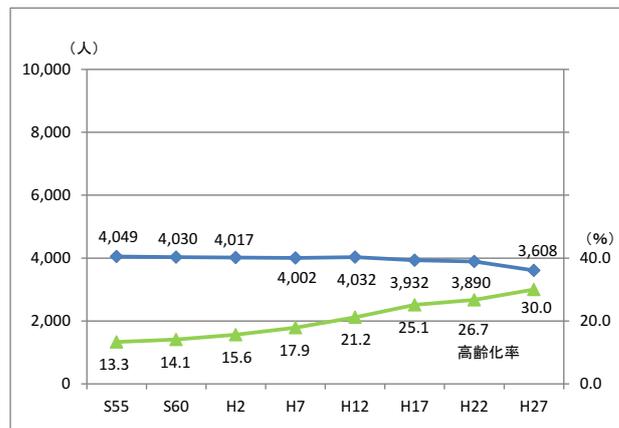
地区別の人口推移をみると、朝日地区と宮崎地区はほぼ横ばいで推移しており、高齢化の進行も比較的穏やかになっています。

織田地区は、やや人口減少がみられ、高齢化が進行しています。

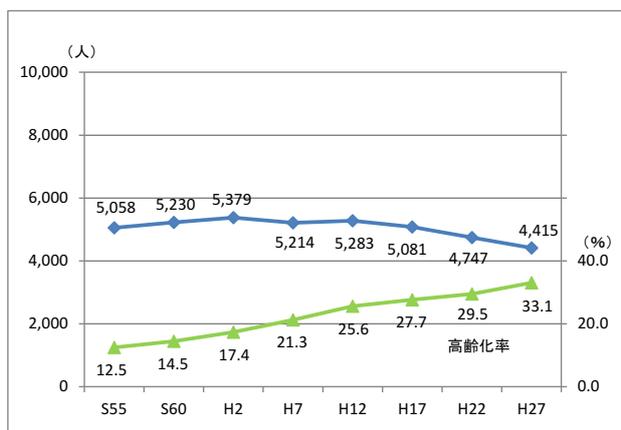
越前地区は、4地区のなかで顕著な人口減少がみられ、30年間で約4割の人口が減少しています。高齢化も4地区のなかで最も進んでいます。



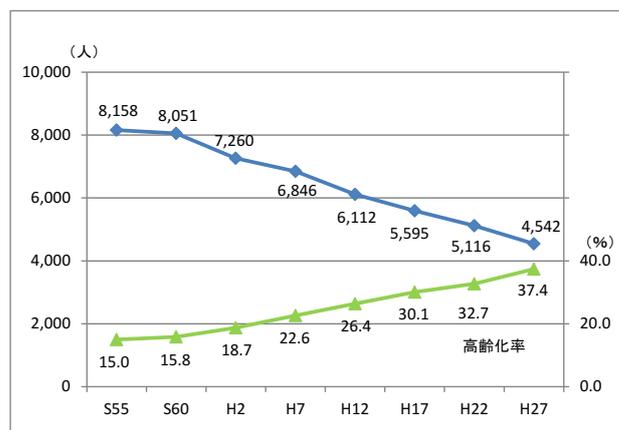
○朝日地区



○宮崎地区



○織田地区



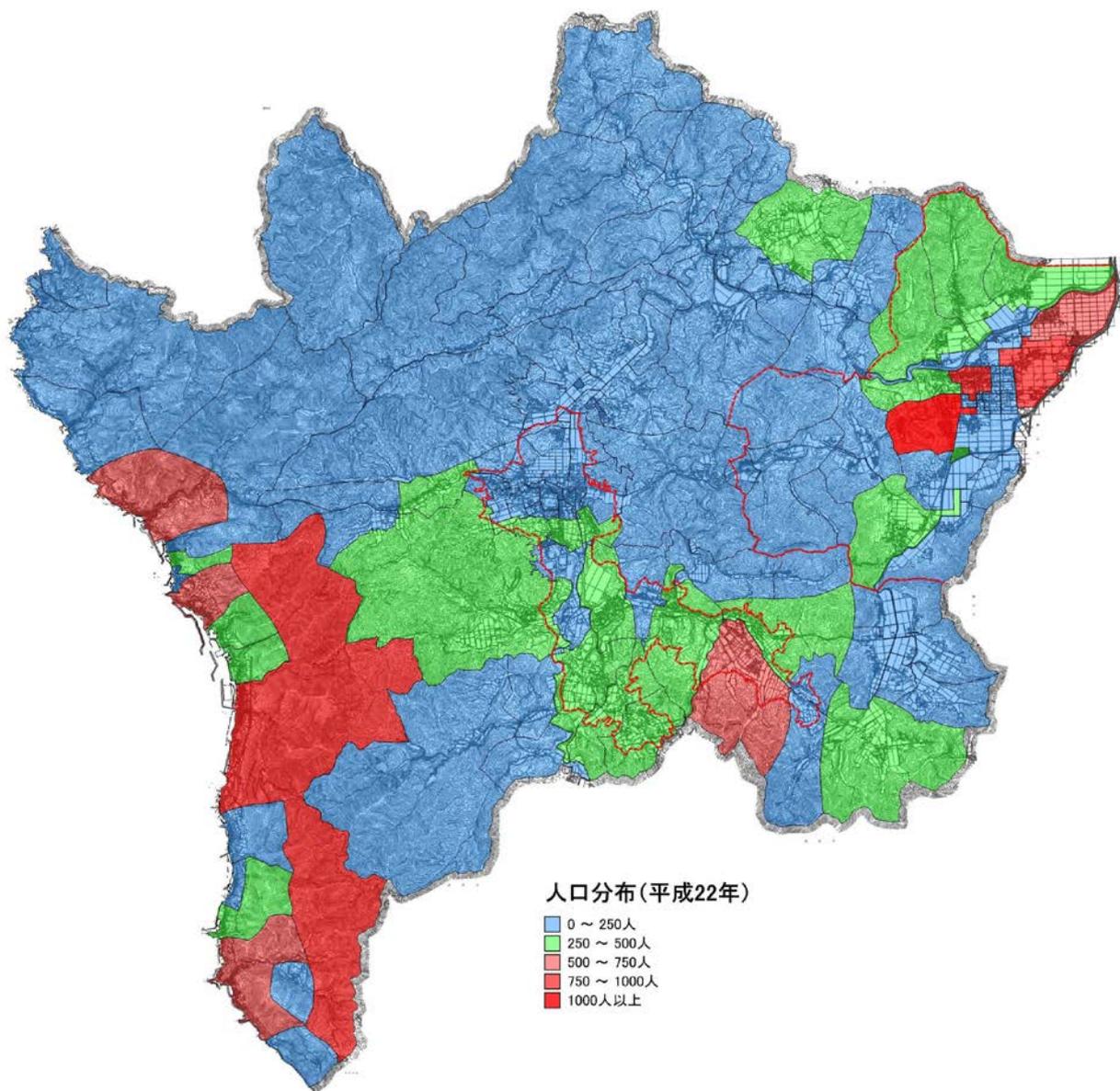
○越前地区

■地区別の人口と高齢化の推移

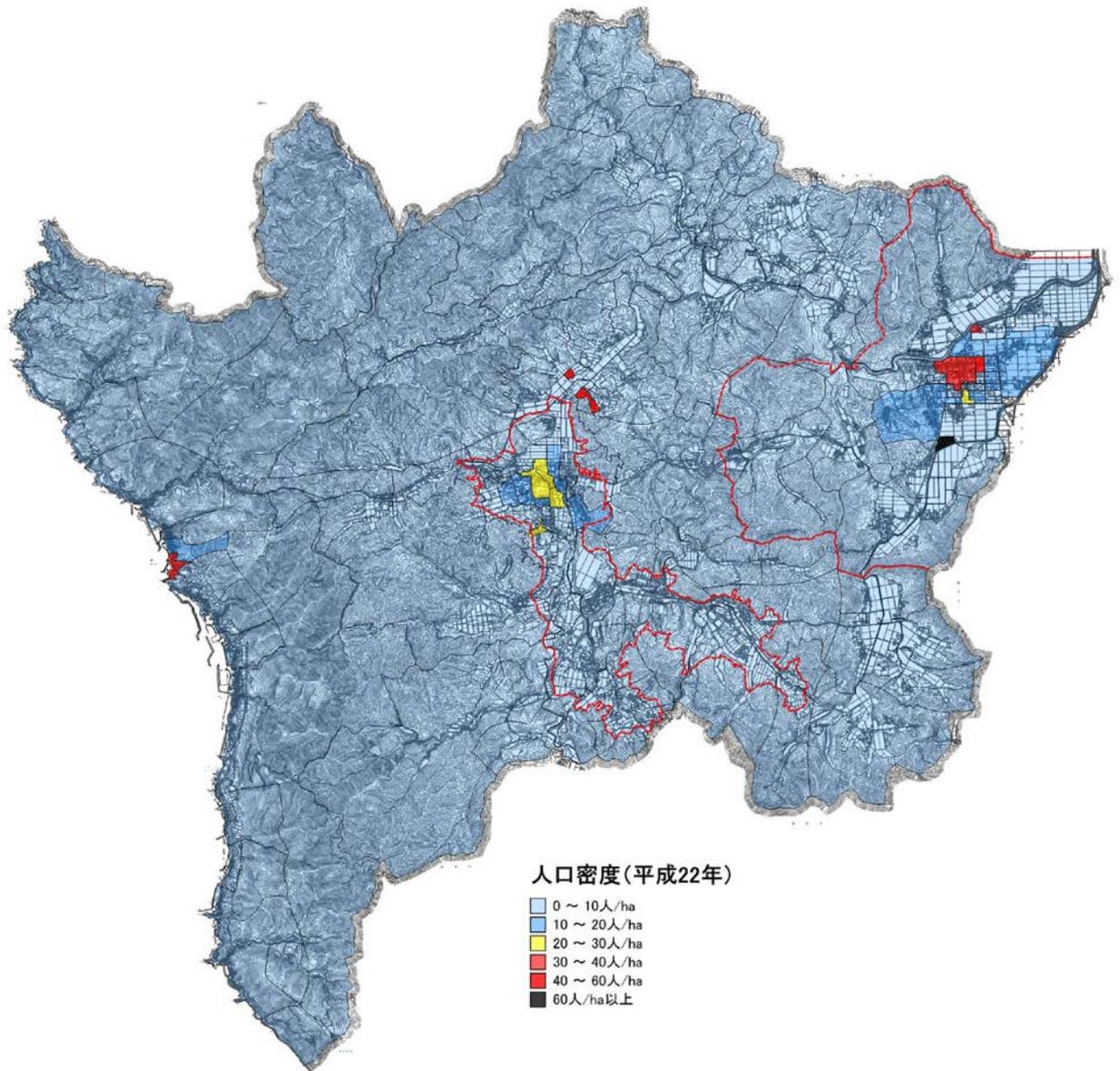
(3) 小地域別人口の動向

国勢調査における小地域別の人口の動向をみると、朝日地区西田中周辺、越前地区厨、宮崎地区樫津周辺に人口集積が多くみられます。人口密度の高い地区は、朝日地区西田中、織田地区劔神社周辺、越前地区新保周辺となっています

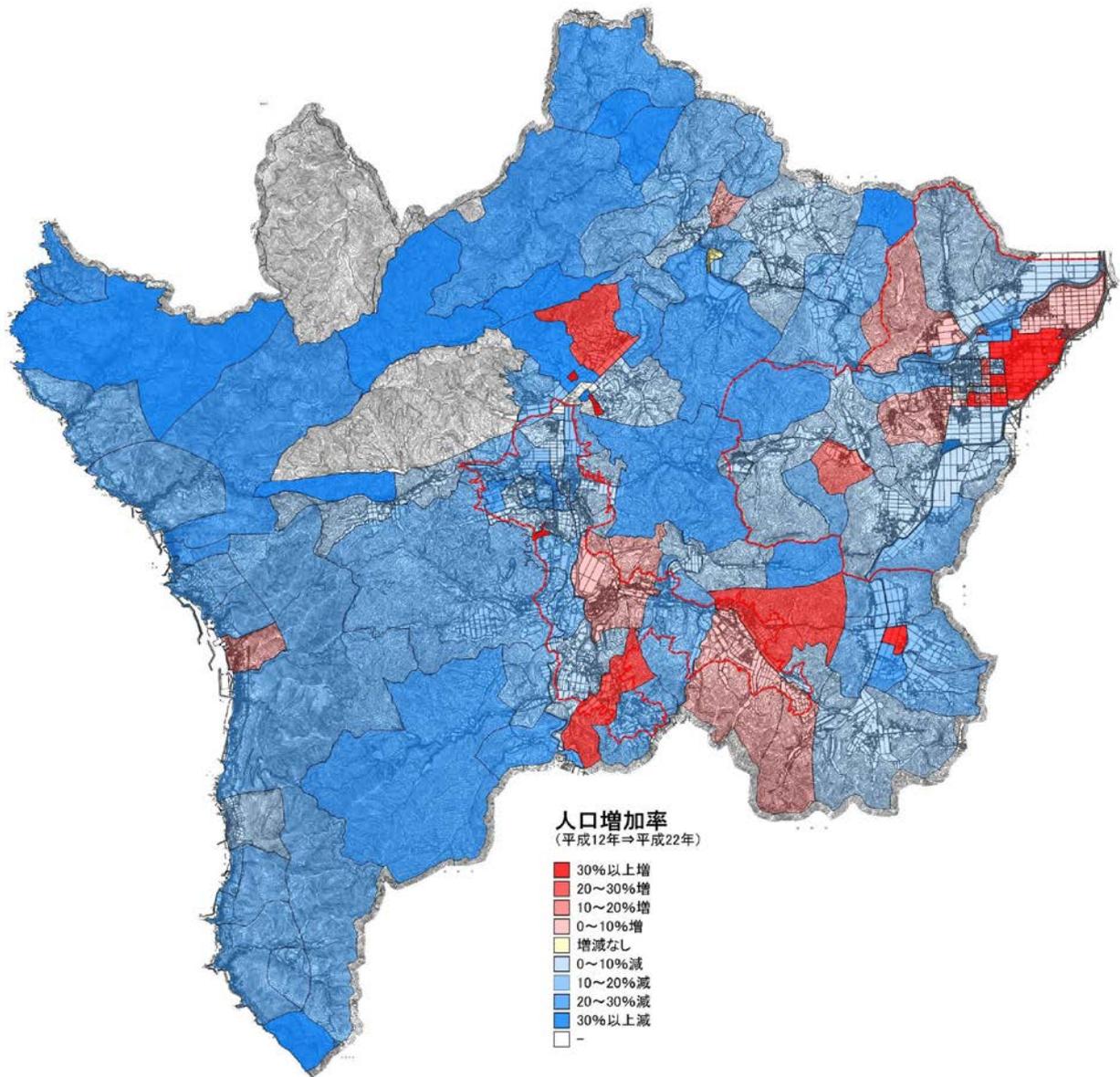
平成 12 年と比較すると、住宅地開発を行ったところを除いて、多くの地域で人口が減少しています。特に、中山間部の人口減少率が高く、高齢化率も高くなっています。



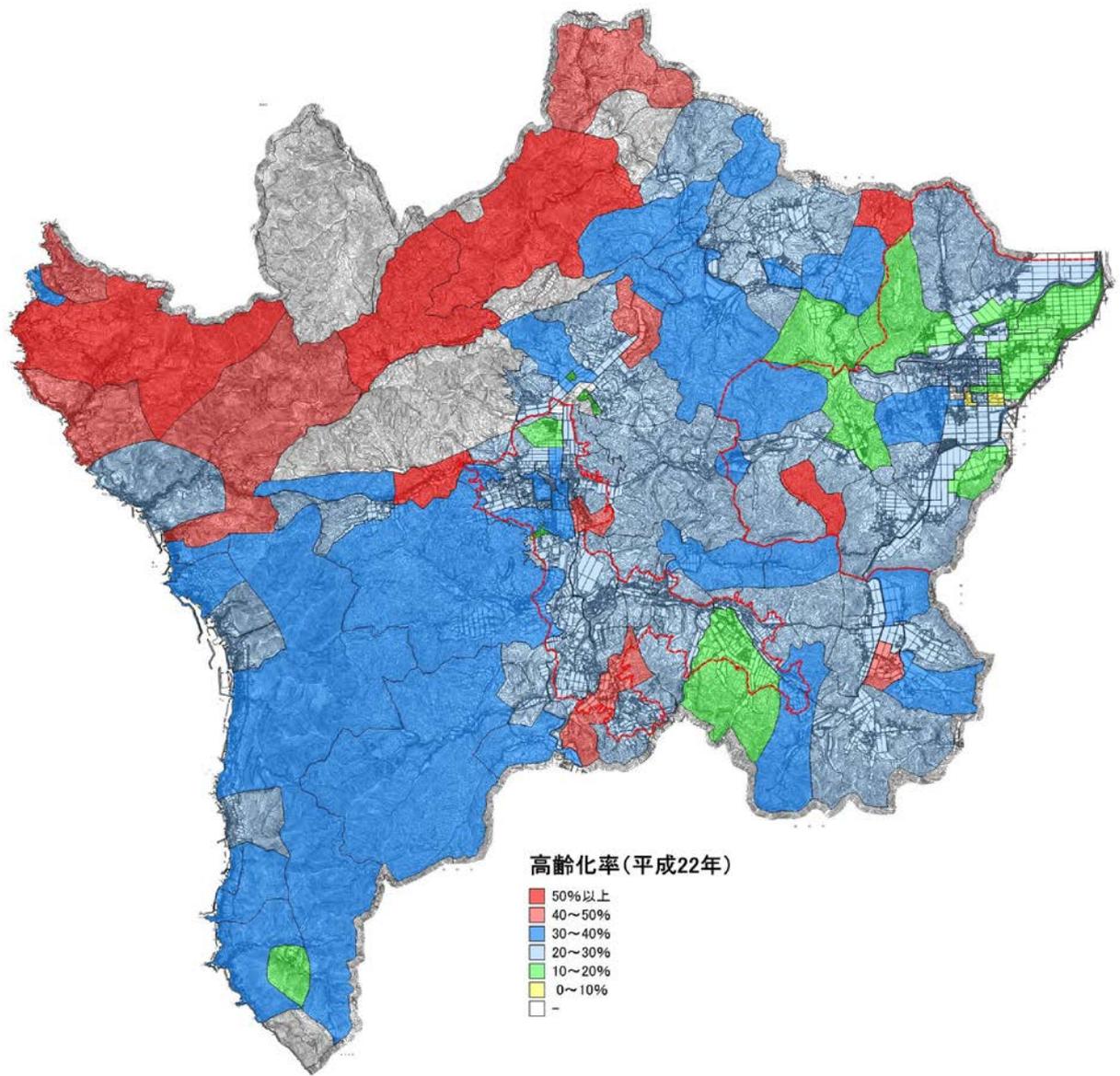
■小地域別の人口分布（平成 22 年）



■小地域別の人口密度（平成 22 年）



■小地域別の人口増加率（平成12年→22年）



■小地域別の高齢化率（平成 22 年）

(4) 通勤・通学

本町に居住する通勤・通学者は12,633人(平成22年)ですが、そのうち半数を超える6,500人(51%)が町外に通勤・通学しています。また、町外からの通勤・通学者は2,237人で4,263人の流出超過となっています。

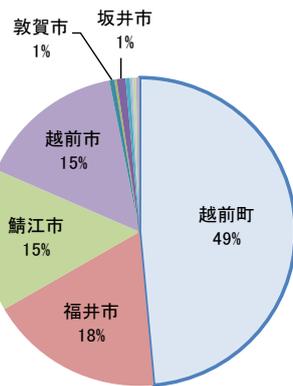
通勤・通学者の流出先は、隣接する福井市、鯖江市、越前市が多くを占めています。

平成2年と比較すると、本町内での通勤・通学者が約3割減少し、町外への通勤通学者が約1割増加しています。町外からの通勤・通学者も1,686人増加しているものの、流出超過傾向が若干強くなっています(平成2年:4,024人流出超過)。

【平成22年】

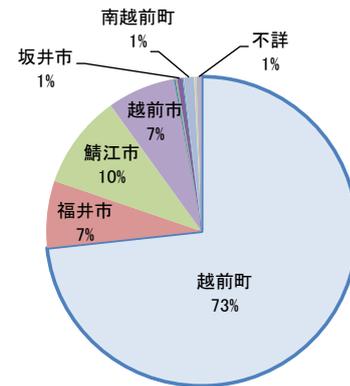
■越前町に居住する通勤・通学者数

| | 通勤 | 通学 | 計 |
|-----|--------|-------|--------|
| 越前町 | 5,699 | 434 | 6,133 |
| 福井市 | 2,004 | 282 | 2,286 |
| 鯖江市 | 1,790 | 96 | 1,886 |
| 越前市 | 1,750 | 188 | 64 |
| その他 | 320 | 70 | 390 |
| 計 | 11,563 | 1,070 | 12,633 |



■越前町への通勤・通学者数

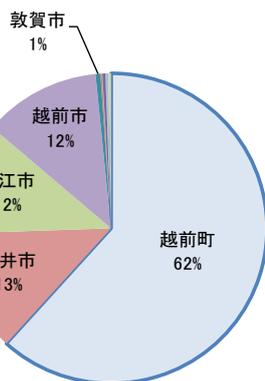
| | 通勤 | 通学 | 計 |
|-----|-------|-----|-------|
| 越前町 | 5,699 | 434 | 6,133 |
| 福井市 | 553 | 32 | 585 |
| 鯖江市 | 750 | 70 | 820 |
| 越前市 | 584 | 8 | 592 |
| その他 | 230 | 10 | 240 |
| 計 | 7,816 | 554 | 8,370 |



【平成2年】

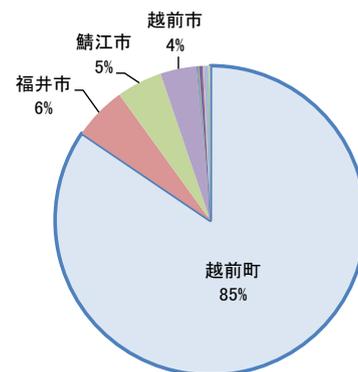
■越前町に居住する通勤・通学者数

| | 通勤 | 通学 | 計 |
|-----|--------|-------|--------|
| 越前町 | 8,403 | 796 | 9,199 |
| 福井市 | 1,537 | 368 | 1,905 |
| 鯖江市 | 1,683 | 70 | 1,753 |
| 越前市 | 1,561 | 253 | 1,814 |
| その他 | 209 | 29 | 238 |
| 計 | 13,393 | 1,516 | 14,909 |



■越前町への通勤・通学者数

| | 通勤 | 通学 | 計 |
|-----|-------|-------|--------|
| 越前町 | 8,403 | 796 | 9,199 |
| 福井市 | 465 | 139 | 604 |
| 鯖江市 | 450 | 67 | 517 |
| 越前市 | 391 | 20 | 411 |
| その他 | 150 | 4 | 154 |
| 計 | 9,859 | 1,026 | 10,885 |



3. 都市基盤の整備状況

(1) 都市計画区域、用途地域

本町には、「丹南都市計画区域」と「織田都市計画区域」が指定されています。

「丹南都市計画区域」は、越前市、鯖江市を主体に本町の一部（朝日地区）を一体の区域として指定したもので、本町の指定面積は2,171haです。

「織田都市計画区域」は、本町の織田地区、宮崎地区の一部に指定したもので、指定面積は1,033haです。

2つの都市計画区域には、本町全体の約6割となる13,592人が居住しています。

また、越前地区には都市計画区域は指定されていません。

用途地域は、2つの都市計画区域で378.2haが指定されており、住居系用途地域が約6割を占めています。また、用途地域内には、本町全体の約3割となる6,600人が居住しています。

| | 面積 (ha) | 人口 (人) | 行政区域 | |
|---------------|------------|-----------|--------------------------|-------------------|
| | | | 面積 (km ²) | 人口 (人) |
| 丹南都市計画区域（越前町） | 2,171 | 7,863 | 152.96 (20.9%) | 23,160 (58.7%) |
| 織田都市計画区域 | 1,033 | 5,729 | | |
| 計 | 3,204 | 13,592 | | |

都市計画区域人口：平成26年3月

行政区域人口：平成22年国勢調査

| | | 用途地域 (ha) | | | | | | 人口 (人) |
|-------------------|--------|---------------------|----------------------|-------------|-------------|------------|------|-----------|
| | | 第1種 低層住居 専用地域 | 第1種 中高層住居 専用地域 | 第1種 住居地域 | 近隣商業 地 域 | 準工業 地 域 | 工業地域 | |
| 丹南都市計画区域 (越前町) | 144.0 | 4.0 | 14.0 | 64.8 | 10.9 | 41.3 | 9.0 | 3,783 |
| 織田都市計画区域 | 234.2 | 36.4 | 15.0 | 93.6 | 8.0 | 71.3 | 9.9 | 2,817 |
| 計 | 378.2 | 40.4 | 29.0 | 158.4 | 18.9 | 112.6 | 18.9 | 6,600 |
| | 100.0% | 60.2% | | | 5.0% | 34.8% | | |

(2) 都市施設

①都市計画道路

本町では、都市計画道路として14路線（幹線街路13路線、特殊街路1路線）を計画決定しており、総延長は23.96kmとなっています。

現在、11路線が改良済であり、市街地の骨格を形成する都市計画道路は概ね整備が完了しています。

また、全路線の改良率は84.4%であり、県内の他市町と比べ高い整備水準となっています。

■都市計画道路の整備状況

| | 計画決定延長 (km) | 改良済延長 (km) | 改良率 (%) |
|---------------|----------------|---------------|------------|
| 丹南都市計画区域(越前町) | 12.28 | 8.54 | 69.5 |
| 織田都市計画区域 | 11.68 | 11.68 | 100.0 |
| 計 | 23.96 | 20.22 | 84.4 |

資料：庁内資料（平成26年3月31日現在）

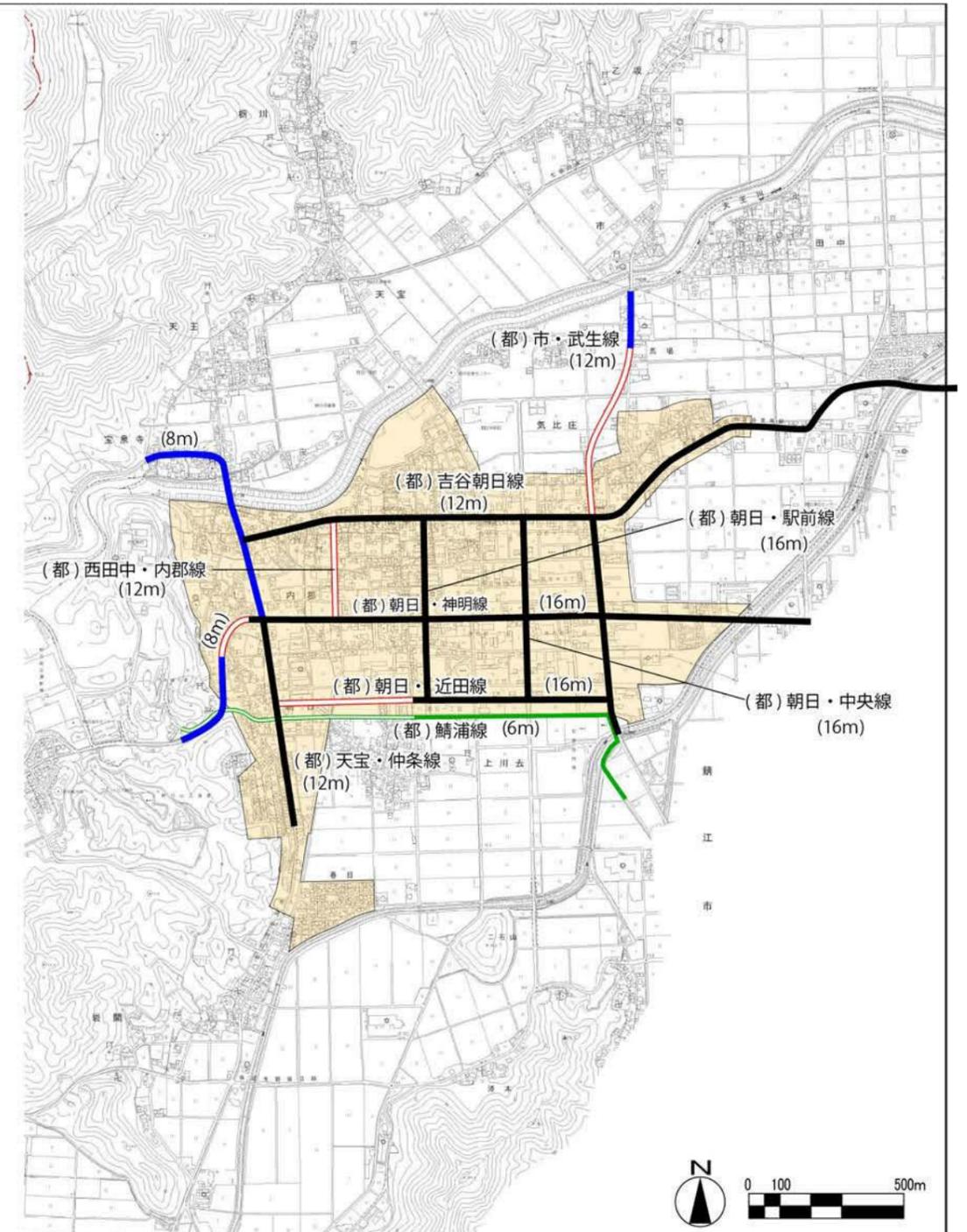
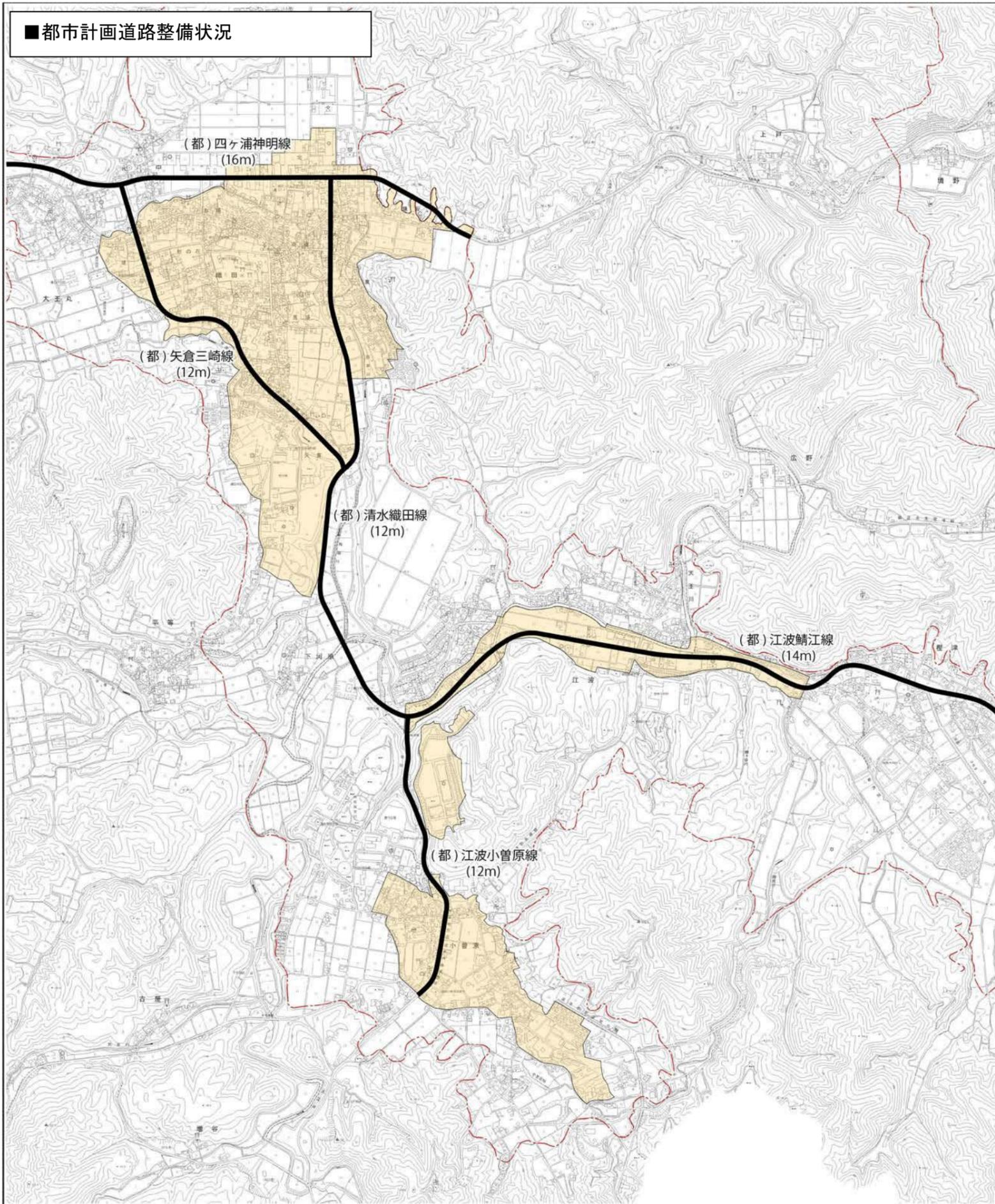
<丹南都市計画区域>

| | 路線名 | 幅員 (m) | 計画延長 (m) | 内 越前町 区間延長 (m) | 整備済 延長 (m) | 未整備 延長 (m) |
|----------|---------|-----------|-------------|----------------------|------------------|------------------|
| 3・4・2 | 吉谷・朝日線 | 12 | 9,040 | 2,440 | 2,440 | — |
| 3・4・3 | 朝日・神明線 | 16 | 4,770 | 1,830 | 1,830 | — |
| | | 8 | 550 | 550 | — | 550 |
| 3・5・8 | 天宝・仲条線 | 12 | 1,240 | 1,240 | 840 | 400 |
| | | 8 | 450 | 450 | — | 450 |
| 3・4・9 | 朝日・中央線 | 16 | 600 | 600 | 600 | — |
| 3・5・10 | 市・武生線 | 12 | 1,390 | 1,390 | 700 | 690 |
| 3・4・11 | 朝日・近田線 | 16 | 1,100 | 1,100 | 650 | 450 |
| 3・5・12 | 朝日・駅前線 | 16 | 220 | 220 | 220 | — |
| | | 15 | 420 | 420 | 420 | — |
| 3・5・13 | 西田中・内郡線 | 12 | 320 | 320 | — | 320 |
| 幹線道路 計 | | | | 10,560 | 7,700 | 2,860 |
| 8・7・2 | 鯖浦線 | 6 | 1,720 | 1,720 | 840 | 880 |
| 特殊街路 計 | | | | 1,720 | 840 | 880 |
| 都市計画道路 計 | | | | 12,280 | 8,540 | 3,740 |

<織田都市計画区域>

| | 路線名 | 幅員 (m) | 計画延長 (m) | 内 越前町 区間延長 (m) | 整備済 延長 (m) | 未整備 延長 (m) |
|----------|--------|-----------|-------------|----------------------|------------------|------------------|
| 3・4・1 | 四ヶ浦神明線 | 16 | 2,580 | 2,580 | 2,580 | — |
| 3・5・2 | 清水織田線 | 12 | 2,500 | 2,500 | 2,500 | — |
| 3・5・3 | 矢倉三崎線 | 12 | 1,700 | 1,700 | 1,700 | — |
| 3・5・4 | 江波小曾原線 | 12 | 1,100 | 1,100 | 1,100 | — |
| | | 14 | 300 | 300 | 300 | — |
| 3・5・5 | 江波鯖江線 | 14 | 3,500 | 3,500 | 3,500 | — |
| 都市計画道路 計 | | | | 11,680 | 11,680 | — |

■都市計画道路整備状況



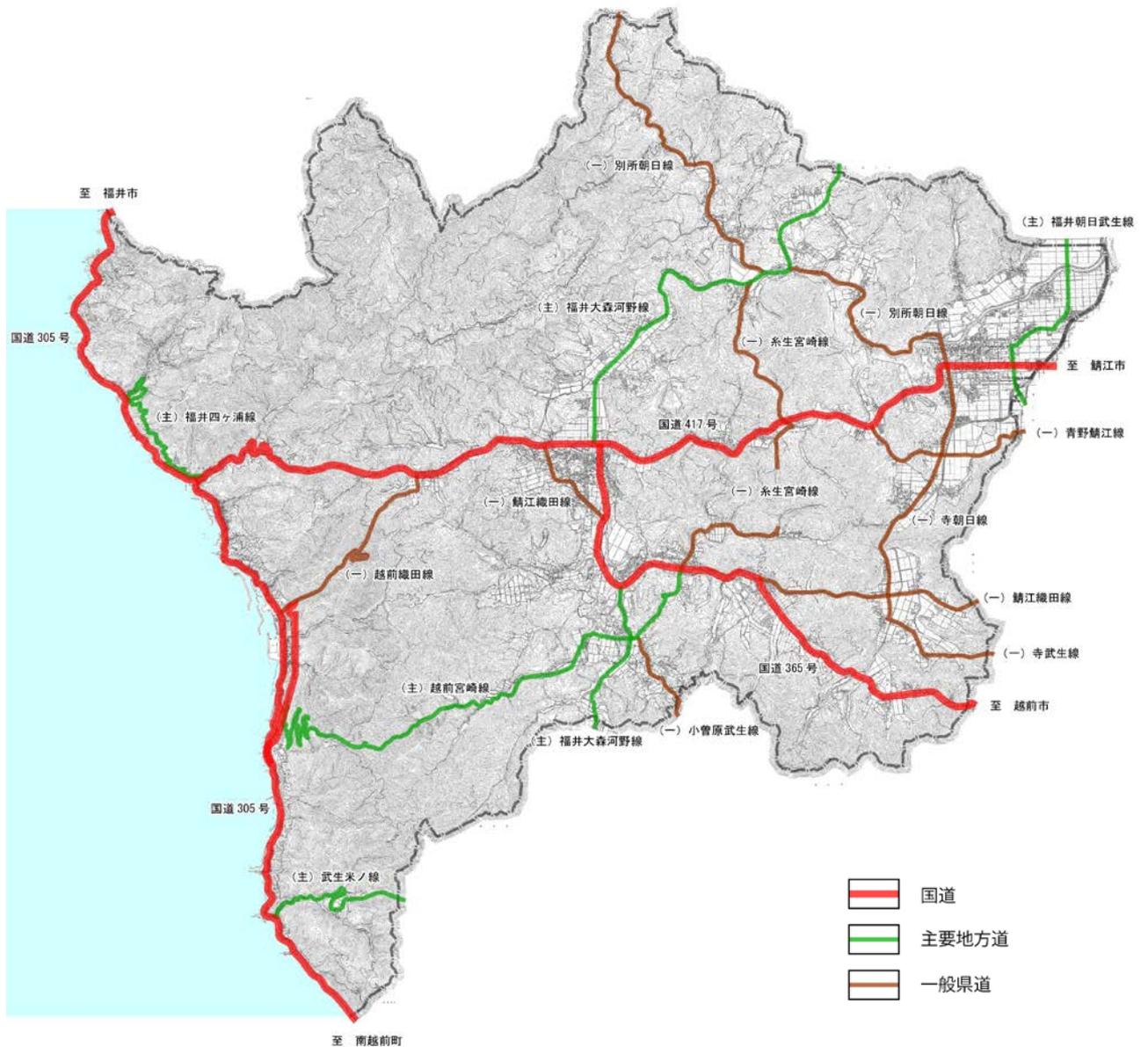
| <幹線街路> | | 凡 例 | |
|--------|-----|-----|--------|
| | 整備済 | | 用途地域 |
| | 概成済 | | 都市計画区域 |
| | 未整備 | | |
| <特殊街路> | | | |
| | 整備済 | | |
| | 未整備 | | |

本町の主要な道路には、国道3路線、主要地方道5路線、一般県道8路線があります。

国道305号は、海岸沿いに位置し、福井市及び南越前町を連絡しています。国道365号は、本町を東西に横断しており、海岸部と越前市を連絡しています。国道417号は、織田地区で国道365号から分岐し、鯖江市を連絡しています。

その他、主要地方道、一般県道が地域の主要な道路ネットワークを形成しており、隣接市町との連絡や町内の移動を支えています。

近年の整備は、平成18年供用の国道365号梅浦バイパス（上山中－梅浦、1.0km）、平成19年供用の国道417号青野～鎌坂バイパス（4.3km）、平成22年供用の国道305号越前バイパス（道口－茂原2.8km）、平成24年供用の（一）別所朝日線（横山－宝泉寺、1.5km）があります。また、平成27年9月には国道365号（舟場・八田、1.4km）の拡幅整備が完了し供用しています。



■道路現況（国道、県道）

②都市公園

本町では、都市公園として街区公園 6 箇所、近隣公園 1 箇所、地区公園 2 箇所、総合公園 2 箇所を供用しており、供用面積は 28.84ha に及んでいます。

住民 1 人当たり面積は 12.45 m²となり、都市公園法に基づく都市公園の住民 1 人当たり標準面積 10 m²を上回っています。

■都市公園の整備状況

| 種 別 | 供用面積 (ha) | 住民 1 人当たり面積 (m ² /人) |
|------|--------------|------------------------------------|
| 街区公園 | 1.94 | 0.84 |
| 近隣公園 | 2.20 | 0.95 |
| 地区公園 | 7.40 | 3.20 |
| 総合公園 | 17.30 | 7.47 |
| 公園 計 | 28.84 | 12.45 |

資料：庁内資料（平成 26 年 3 月 31 日現在）

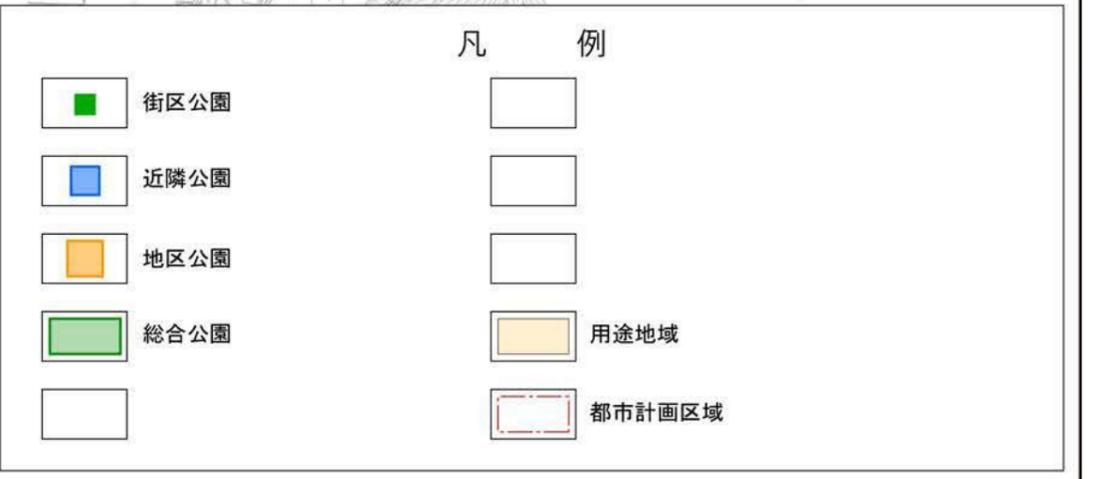
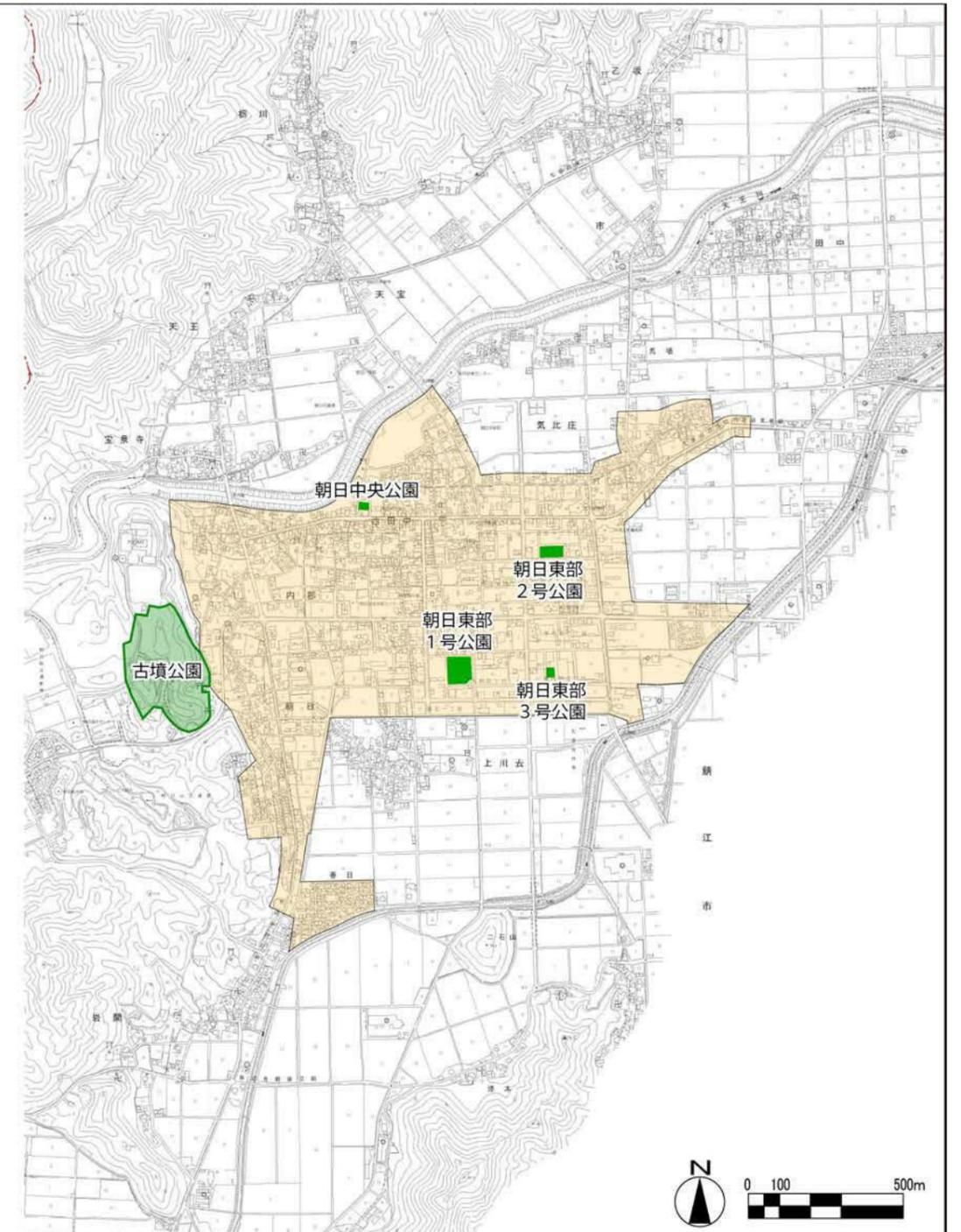
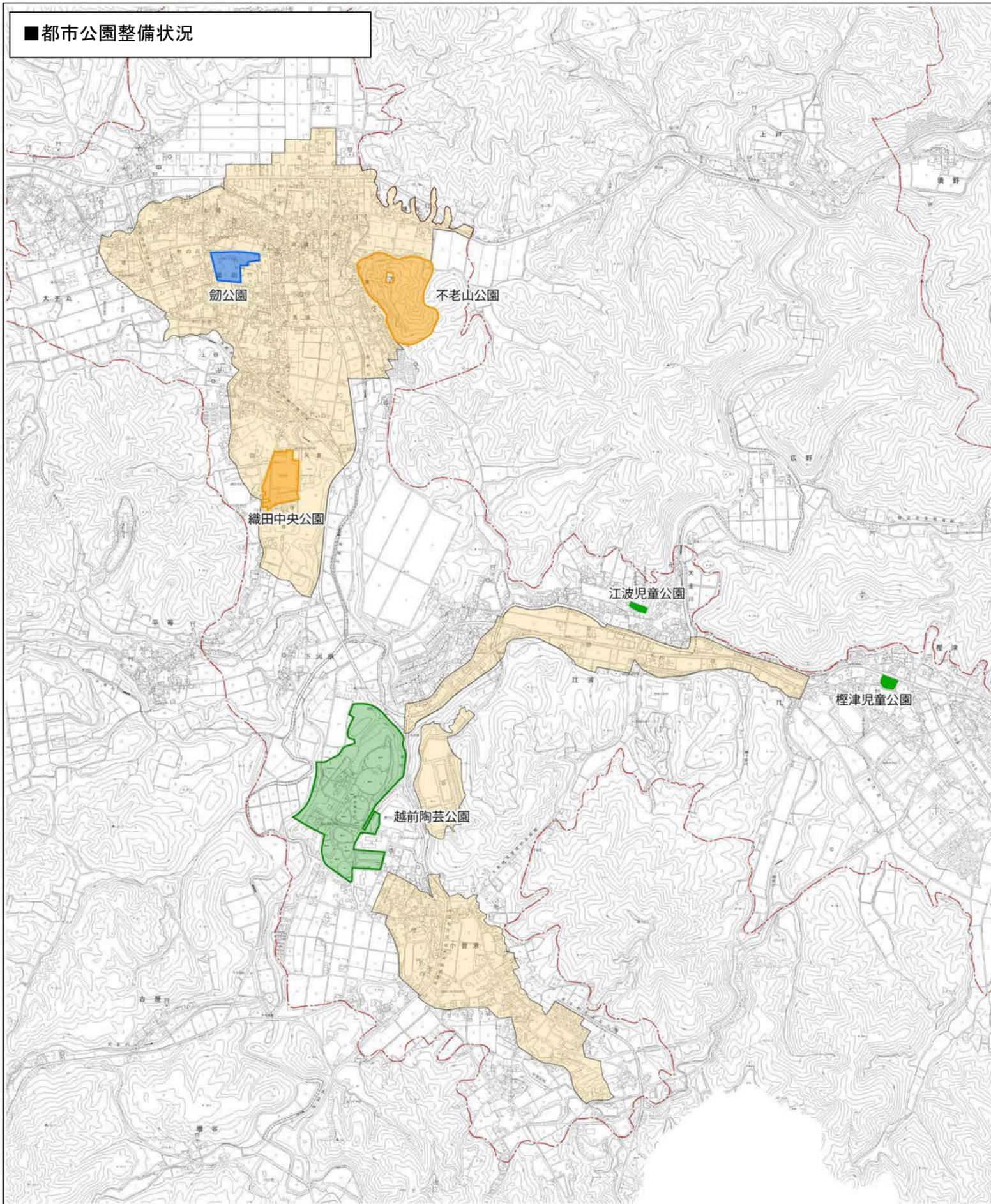
<丹南都市計画区域>

| 種 別 | 名 称 | | 計画面積 (ha) | 供用面積 (ha) |
|-----|--------|----------|--------------|--------------|
| | 番 号 | 公 園 名 | | |
| 街 区 | 2・2・54 | 朝日中央公園 | 0.16 | 0.16 |
| | — | 東部 1 号公園 | — | 0.85 |
| | — | 東部 2 号公園 | — | 0.30 |
| | — | 東部 3 号公園 | — | 0.08 |
| 計 | | | 0.16 | 1.39 |
| 総 合 | 5・4・4 | 古墳公園 | 9.50 | 5.50 |
| 計 | | | 9.66 | 6.89 |

<織田都市計画区域>

| 種 別 | 名 称 | | 計画面積 (ha) | 供用面積 (ha) |
|-----|-------|--------|--------------|--------------|
| | 番 号 | 公 園 名 | | |
| 街 区 | 2・2・1 | 樫津児童公園 | 0.25 | 0.25 |
| | 2・2・2 | 江波児童公園 | 0.30 | 0.30 |
| 計 | | | 0.55 | 0.55 |
| 近 隣 | 3・3・1 | 劔公園 | 2.20 | 2.20 |
| 地 区 | 4・3・1 | 織田中央公園 | 3.40 | 3.40 |
| | 4・4・2 | 不老山公園 | 4.00 | 4.00 |
| 計 | | | 7.40 | 7.40 |
| 総 合 | 5・5・1 | 越前陶芸公園 | 20.40 | 11.80 |
| 計 | | | 30.55 | 21.95 |

■都市公園整備状況



③下水道

本町の下水道は、公共下水道、特定環境保全公共下水道、農業集落排水、漁業集落排水、小規模集合排水処理施設など、地域の実情にあわせた処理施設の整備により環境衛生の向上に努めており、下水道普及率は99.0%（平成21年度）と県内平均（82.7%）よりも高くなっています。

■下水道の整備状況

| 処理区分 | 処理区数 | 処理区域内人口(人) | 水洗化人口(人) | 水洗化率(%) | 処理区名 | 普及率(%) |
|-----------|------|------------|----------|---------|--|--------|
| 公共下水道 | 2 | 11,359 | 10,588 | 93.2 | 朝日、織田 | 99.0 |
| 特定環境公共下水道 | 3 | 3,197 | 2,858 | 89.4 | 宮崎、萩野、山中 | |
| 農業集落排水 | 11 | 4,146 | 3,905 | 94.2 | 上糸生、糸生中部、糸生東部、大畑、宮崎東部、宮崎中部、宮崎西部、左右、玉川、六呂師、上戸、入尾・笈松 | |
| 漁業集落排水 | 1 | 5,224 | 3,693 | 70.7 | 越前北部、越前南部 | |

資料：庁内資料（平成22年3月31日現在）

■下水道の整備状況

| 種別 | 全体計画面積(ha) | 整備面積(ha) | 供用開始年月 |
|-------------|------------|----------|--------|
| 公共下水道 | 834 | 608 | S61.3 |
| 特定環境保全公共下水道 | 58 | 59 | H1.4 |

資料：福井県の都市計画（平成27年3月31日現在）

| | 方式の種類 | 計画 | | | | | 供用 | | | | | 整備率(%) |
|-----------------------|-------|----------|----------|---------|-----|---------------------|----------|----------|---------|-----|---------------------|--------|
| | | 排水区域(ha) | 処理区域(ha) | 下水管渠(m) | 処理場 | | 排水区域(ha) | 処理区域(ha) | 下水管渠(m) | 処理場 | | |
| | | | | | 箇所数 | 面積(m ²) | | | | 箇所数 | 面積(m ²) | |
| 丹南 都市計画区域 (越前町) | 分流式 | 429 | 429 | 89,700 | 1 | 10,000 | 381 | 381 | 81,643 | 1 | 10,000 | 88.8 |
| 織田 都市計画区域 | 分流式 | 254 | 254 | 79,891 | 1 | 12,300 | 230 | 230 | 60,423 | 1 | 12,300 | 90.6 |

資料：平成26年都市計画現況調査（平成26年3月31日現在）

(3) 市街地開発事業（土地区画整理事業）

本町の土地区画整理事業の実績は、8地区、62haとなっています。また現在、気比庄地区の施行が進められています。

朝日東部を除いて小規模な整備となっています。

■土地区画整理事業の状況

| | 都市計画決定 | | 実施状況 | | | | | |
|---------------|-------------|------------|-------------|------------|-------------|------------|-------------|------------|
| | | | 施行済 | | 施行中 | | 合計 | |
| | 地区数 (箇所) | 面積 (ha) | 地区数 (箇所) | 面積 (ha) | 地区数 (箇所) | 面積 (ha) | 地区数 (箇所) | 面積 (ha) |
| 丹南都市計画区域（越前町） | 2 | 41.3 | 4 | 45.5 | 1 | 3.7 | 5 | 49.2 |
| 織田都市計画区域 | 2 | 7.1 | 3 | 12.8 | — | — | 3 | 12.8 |
| 計 | 4 | 48.4 | 7 | 58.3 | 1 | 3.7 | 8 | 62.0 |

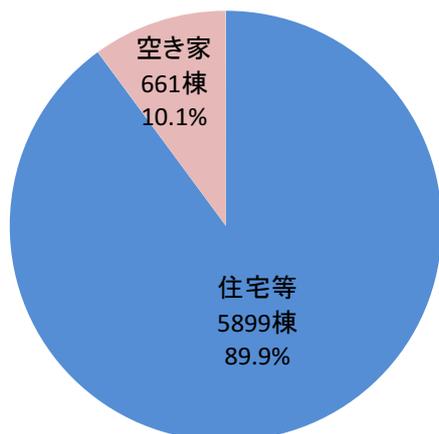
| | 地区名 | 都市計画決定 | 面積 (ha) | 施行状況 | 施行者 |
|-----------------------|--------|--------|---------|------|------|
| 丹南 都市計画区域 (越前町) | 朝日東部 | ○ | 37.6 | 施行済 | 公共団体 |
| | 新庄 | | 1.9 | 施行済 | 組合 |
| | 内郡 | | 3.1 | 施行済 | 組合 |
| | 朝日ヶ丘 | | 2.9 | 施行済 | 個人 |
| | 気比庄 | ○ | 3.7 | 施行中 | 公共団体 |
| 織田 都市計画区域 | 森の腰 | ○ | 1.7 | 施行済 | 組合 |
| | 北 | ○ | 5.5 | 施行済 | 公共団体 |
| | 宮崎村小曾原 | | 5.6 | 施行済 | 個人 |

(4) 空き家の分布状況

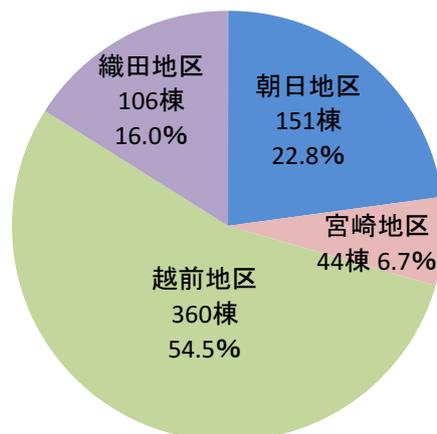
本町には平成26年8月31日現在で661棟の空き家があり、町内にある住宅総数（店舗その他の併用住宅を含む）の10%になります。

地区別には、越前地区が過半数を占めており、次いで朝日地区、織田地区に多く分布しています。

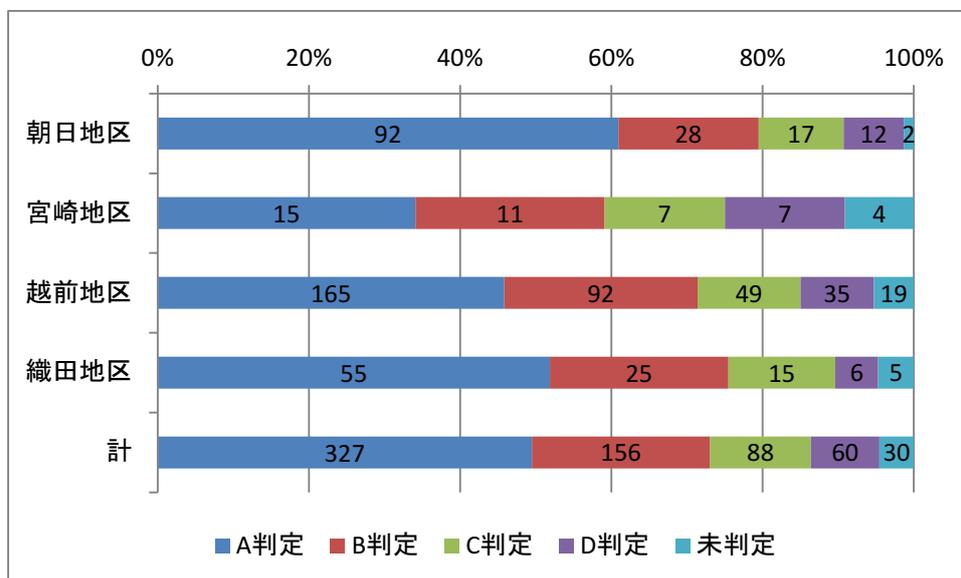
目視による外観調査による老朽度は、再利用可能なA、B判定の優良空き家が73.1%となっています。



■空き家の発生状況



■地区別の分布状況



■老朽度別空き家等数

| | | |
|-------|-----|---------|
| 優良空き家 | A判定 | そのまま使用可 |
| | B判定 | 若干修繕要 |
| 不良空き家 | C判定 | かなり修繕要 |
| | D判定 | 腐朽して危険 |

4. 主要な都市機能の分布状況と生活圏

(1) 医療、福祉、子育て支援、商業、文化教育関連

住民の日常生活における主要な都市機能である医療、福祉、子育て支援、商業、文化教育関係の施設は、以下のように分布しています。

また、これらの都市機能に関しては、隣接する福井市、鯖江市、越前市の施設の利用もみられ、日常的な生活圏を構成しています。

①医療（病院、診療所）機能

病院、診療所については、以下の施設が立地している他、歯科等の施設があります。織田地区の織田病院は、用途地域外に位置しています。

一方、隣接する福井市、鯖江市、越前市の施設の利用も多くみられます。

■主な病院、診療所（内科）

| | |
|------|-------------------------|
| 朝日地区 | 伊部病院、藤田医院 |
| 宮崎地区 | 長田内科胃腸科医院 |
| 越前地区 | 越前診療所、両林医院 |
| 織田地区 | 越前町国民健康保険織田病院、橘医院、関内科医院 |

②福祉（高齢者、障がい者）機能

高齢者、障がい者施設については、朝日地区は用途地域外に位置していますが、織田地区、宮崎地区の施設は、用途地域内に立地しています。

③子育て支援（保育所、児童館）機能

保育所、児童館については、郊外部の施設を除いて用途地域内に位置しています。

④商業機能

商業施設は、朝日地区、及び織田地区の国道417号沿道に主に分布している。ただし、最も規模の大きな店舗（ホームセンターヤマキシ朝日店）は、朝日地区の用途地域外の主要地方道福井武生朝日線沿道に立地しています。

また、コンビニエンスストアは、各地区の国道沿道に立地しています。

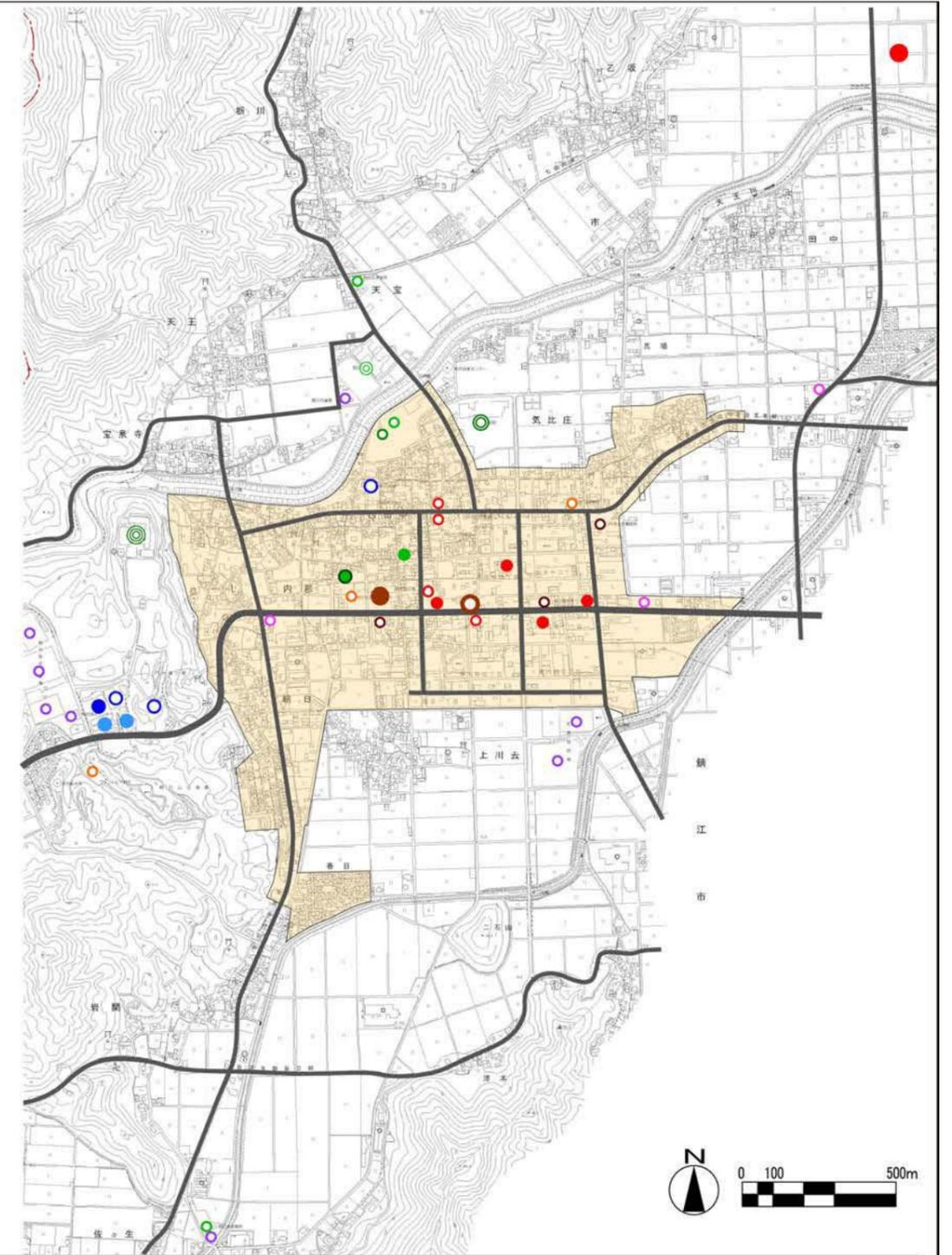
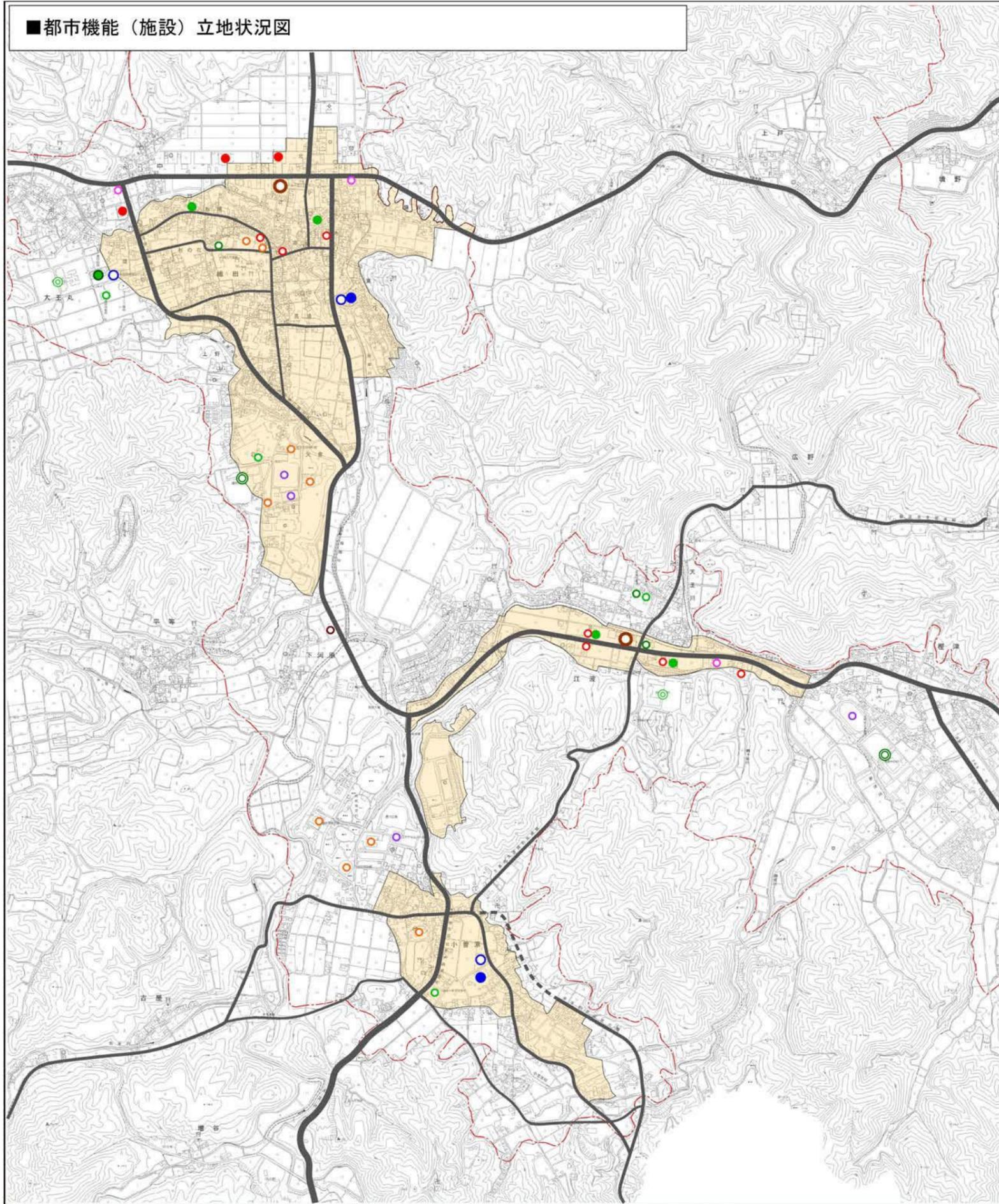
一方、隣接する福井市、鯖江市、越前市の大型商業施設の利用も多くみられます。

⑤文化教育（学校、文化、運動体育）機能

小中学校は、人口の分布に応じて立地しています。施設更新により、朝日地区の朝日中学校、宮崎地区の宮崎中学校、織田地区の織田小学校が用途地域外に移転しています。

文化、運動体育施設については、規模の大きな施設は用途地域外での立地がみられます。

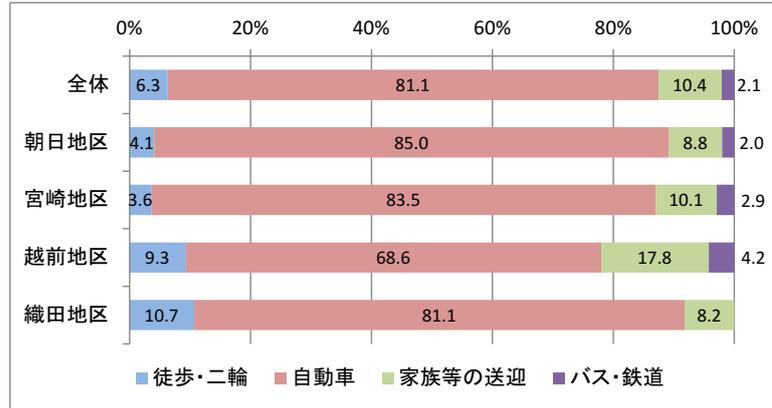
■都市機能（施設）立地状況図



凡 例

- | | | |
|--------------------|--------------------------------------|--------------|
| ● 医療（病院） | ◎◎◎ 学校（小、中、高校） | ● 役場 |
| ● 医療（医院（内科）等） | ○◎ 児童施設（保育所、児童館） | ○ コミュニティセンター |
| ● 高齢者施設（特別養護老人ホーム） | ● 商業施設（店舗面積 5,000 m ² 以上） | ○ 文化施設 |
| ○ 高齢者施設（その他） | ● 商業施設（その他） | ○ 運動体育施設 |
| ● 障がい者施設 | ○ 金融機関（郵便局含む） | ○ その他国県施設 |
| | ○ コンビニエンスストア | |

①日常の買い物



■ 移動手段の構成

| 全地区 | |
|--------------|-----|
| メルシ | 192 |
| ヤマキシ | 152 |
| ハニー | 62 |
| クスリのアオキ(織田店) | 60 |
| プラント3 | 48 |
| アル・プラザ | 25 |
| クスリのアオキ(朝日店) | 24 |
| シビイ | 18 |
| パロー | 18 |
| 末広 | 17 |
| その他 | 236 |
| 総計 | 852 |

| 朝日地区 | |
|--------------|-----|
| ヤマキシ | 122 |
| ハニー | 49 |
| プラント3 | 39 |
| クスリのアオキ(朝日店) | 24 |
| 末広 | 17 |
| アル・プラザ | 11 |
| | 5 |
| ハーツ | 5 |
| ゲンキー | 4 |
| パロー-神明店 | 4 |
| その他 | 69 |
| 総計 | 349 |

| 宮崎地区 | |
|--------------|-----|
| メルシ | 37 |
| シビイ | 16 |
| ヤマキシ | 13 |
| アル・プラザ | 11 |
| ハニー | 9 |
| クスリのアオキ(織田店) | 8 |
| ワイプラザ | 5 |
| 武生 | 5 |
| ハーツ | 5 |
| パロー-武生店 | 4 |
| その他 | 57 |
| 総計 | 170 |

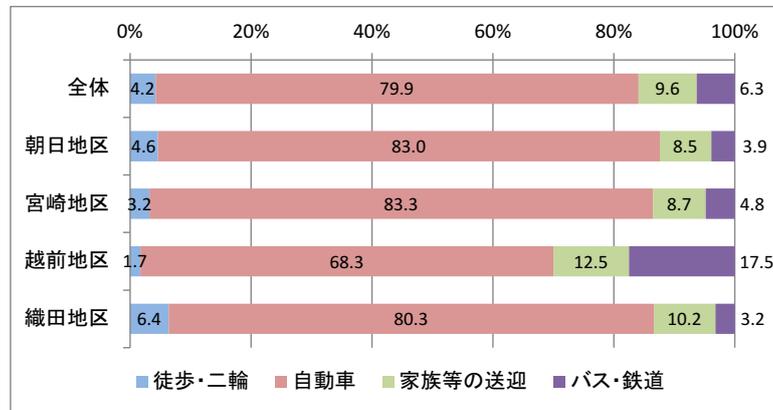
| 越前地区 | |
|--------------|-----|
| メルシ | 57 |
| クスリのアオキ(織田店) | 18 |
| まるさんピーチマート | 9 |
| ヤマキシ | 5 |
| パロー(織田メルシ店) | 5 |
| ハニー | 3 |
| コメリ | 3 |
| プラント3 | 3 |
| 山下商店 | 2 |
| コンビニ | 2 |
| その他 | 25 |
| 総計 | 132 |

| 織田地区 | |
|--------------|-----|
| メルシ | 95 |
| クスリのアオキ(織田店) | 34 |
| ヤマキシ | 12 |
| パロー(織田メルシ店) | 8 |
| コメリ | 6 |
| プラント3 | 3 |
| ローソン | 3 |
| コンビニ | 3 |
| アル・プラザ ベル | 2 |
| 町内 | 2 |
| その他 | 33 |
| 総計 | 201 |

福井市 鯖江市 越前市

■ よく利用する施設

②病院・診療所



■ 移動手段の構成

| 全地区 | |
|-------|-----|
| 織田病院 | 248 |
| 丹南病院 | 119 |
| 伊部病院 | 78 |
| 赤十字病院 | 52 |
| 藤田医院 | 42 |
| 橘医院 | 32 |
| 両林医院 | 17 |
| 済生会病院 | 11 |
| 長田医院 | 9 |
| 林病院 | 8 |
| その他 | 105 |
| 総計 | 721 |

| 朝日地区 | |
|----------|-----|
| 伊部病院 | 74 |
| 丹南病院 | 66 |
| 藤田医院 | 42 |
| 赤十字病院 | 29 |
| 織田病院 | 22 |
| 済生会病院 | 6 |
| くぼたクリニック | 5 |
| ともだち診療所 | 3 |
| 県立病院 | 3 |
| 林病院 他 | 2 |
| その他 | 36 |
| 総計 | 288 |

| 宮崎地区 | |
|---------|-----|
| 織田病院 | 61 |
| 丹南病院 | 23 |
| 長田病院 | 8 |
| 赤十字病院 | 6 |
| 橘医院 | 3 |
| 伊部病院 | 3 |
| 林病院 | 3 |
| 西武クリニック | 2 |
| ともだち診療所 | 1 |
| 済生会病院 他 | 1 |
| その他 | 23 |
| 総計 | 134 |

| 越前地区 | |
|--------|-----|
| 織田病院 | 62 |
| 両林医院 | 17 |
| 丹南病院 | 14 |
| 赤十字病院 | 9 |
| 橘医院 | 5 |
| 中村病院 | 3 |
| 済生会病院 | 3 |
| 林病院 | 3 |
| 岸デンタル | 2 |
| 伊部病院 他 | 1 |
| その他 | 14 |
| 総計 | 133 |

| 織田地区 | |
|----------|-----|
| 織田病院 | 103 |
| 橘医院 | 23 |
| 丹南病院 | 16 |
| 赤十字病院 | 8 |
| ともだち診療所 | 2 |
| 整形外科大城医院 | 2 |
| 長田医院 | 1 |
| 平井皮ふ科医院 | 1 |
| 福井循環器病院 | 1 |
| 済生会病院 他 | 1 |
| その他 | 8 |
| 総計 | 166 |

福井市 鯖江市 越前市

■ よく利用する施設

出典：第三次越前町地域交通計画（H28.3策定予定）

(2) 公共交通

公共交通は、交通事業者による路線バスが運行されており、京福バスが福井駅前及び清水プラント3を連絡し、福鉄バスが福井鉄道の神明駅及び越前武生駅を連絡しています。

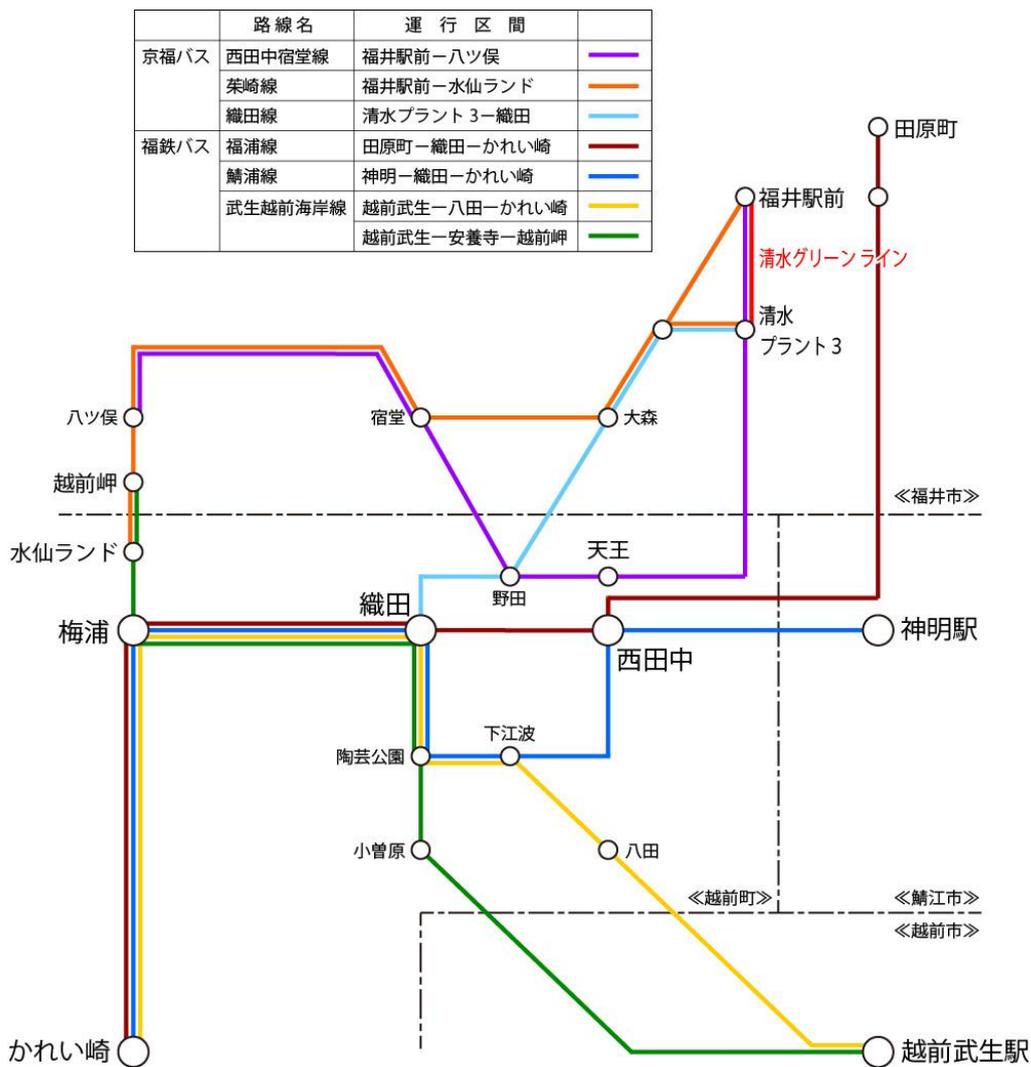
福井駅前方面へは、清水プラント3から高頻度（2便/時）に運行されている清水グリーンラインに接続する予約型のフィーダー路線として「ほやほや号」が運行されています。

また、町営のコミュニティバスが、路線バスを補完し、住民の生活交通を支えています。現在、町内を巡回する環状ルート（右回り、左回り）は、すべて定時運行で、休日以外は毎日運行しています。各地区を巡回するルートは、運行する曜日が設定され、越前地区巡回ルート以外は、一部デマンド方式になっています。

平成28年度には、子育て支援、定住促進を目的として、公共交通での高校通学の経済的な負担を軽減する支援制度が始まっています。

■コミュニティバスの運賃

- ・1乗車につき200円
- ・高齢者（70歳以上）、心身障がい者、小中高生は、1乗車につき100円
（高齢者、心身障がい者の方は、公共交通割引カードの提示が必要）
- ・小学生未満は、無料
- ・目的地まで乗継ぎが必要な場合は、乗継券を発行



■路線バスの運行ルート

■路線バスの運行状況（便数）

<京福バス>

| 路線名 | | 運行区間 | 平日 | 土日休 | 備考 |
|--------------|--------------|----------------|----|--------------|-------|
| 西田中宿堂線 | 上り | 八ツ俣 → 福井駅前 | 1 | 1 | |
| | | 天王 → 福井駅前 | 2 | 2 | |
| | | 天王 → 清水プラント3 | 7 | 7 | ほやほや号 |
| | | 天王 → 清水プラント3 | 3 | 2 | |
| | | 宿堂 → 天王 | 1 | 1 | |
| | | 計 | 14 | 13 | |
| | 下り | 福井駅前 → 八ツ俣 | 1 | 1 | |
| | | 福井駅前 → 天王 | 2 | 2 | |
| | | 清水プラント3 → 天王 | 8 | 7 | ほやほや号 |
| | | 清水プラント3 → 天王 | 1 | 1 | |
| | | 清水プラント3 → 宿堂 | 2 | 1 | |
| | | 計 | 14 | 12 | |
| 茶崎線 | 上り | 水仙ランド入口 → 福井駅前 | 5 | 4 | |
| | | 水仙ランド → 若杉第2 | 5 | 5 | ほやほや号 |
| | | 清水プラント3 → 若杉第2 | 3 | 3 | ほやほや号 |
| | | 計 | 13 | 12 | |
| | 下り | 福井駅前 → 水仙ランド入口 | 5 | 4 | |
| | | 若杉第2 → 水仙ランド | 6 | 6 | ほやほや号 |
| | | 福井駅前 → 清水プラント3 | 1 | 1 | ほやほや号 |
| | | 若杉第2 → 清水プラント3 | 3 | 3 | ほやほや号 |
| | | 計 | 15 | 14 | |
| | | 織田線 | 上り | 織田 → 清水プラント3 | 2 |
| 織田 → 清水プラント3 | 7 | | | 7 | ほやほや号 |
| 計 | 9 | | | 9 | |
| 下り | 清水プラント3 → 織田 | | 3 | 2 | |
| | 清水プラント3 → 織田 | | 6 | 6 | ほやほや号 |
| | 計 | | 9 | 8 | |

<福鉄バス>

| 路線名 | | 運行区間 | 平日 | 土日休 | 備考 |
|---------|----|-----------|------|-----|-------|
| 福浦線 | 上り | かれい崎 → 織田 | 3 | 2 | |
| | | 織田 → 田原町 | 3 | 2 | 西田中経由 |
| | 下り | 田原町 → 織田 | 4 | 4 | 西田中経由 |
| | | 織田 → かれい崎 | 4 | 4 | |
| 鯖浦線 | 上り | かれい崎 → 織田 | 3 | — | |
| | | 織田 → 神明 | 9 | 5 | |
| | 下り | 神明 → 織田 | 10 | 5 | |
| | | 織田 → かれい崎 | 3 | — | |
| 武生越前海岸線 | 上り | かれい崎 → 織田 | 6(5) | 4 | |
| | | 織田 → 越前武生 | 6(5) | 4 | 八田経由 |
| | 下り | 越前武生 → 織田 | 6 | 4 | 八田経由 |
| | | 織田 → かれい崎 | 7 | 4 | 土：5 |
| | 上り | 越前岬 → 織田 | 1 | — | |
| | | 織田 → 越前武生 | 1 | — | 安養寺経由 |
| | 下り | 越前武生 → 織田 | 1 | — | 安養寺経由 |
| | | 織田 → 越前岬 | 1 | — | |

() : 休校日

■コミュニティバス フレンドリー号の運行内容

| ルート名・時刻表 | 運行日 | 運行便数 | 巡回する主な公共施設 |
|-----------------|-----------------|-------------------------------|---|
| 1 環状ルート(右・左)平日 | 月～金 | 右左回り 各4(0) | 泰澄の杜、幸若苑、陶寿園、織田病院、越前町役場、宮崎コミュニティセンター、織田コミュニティセンター、西田中バスターミナル、織田バスターミナル など |
| 2 環状ルート(右・左)土曜日 | 土 | 右左回り 各2(0) | |
| 3 朝日地区巡回ルート | 月～金 一部デマンド | 6(2) | 泰澄の杜、幸若苑、越前町役場、西田中バスターミナル など |
| 4 宮崎地区巡回ルート | 月～金 一部デマンド | 6(1) | 陶寿園、陶芸村、織田バスターミナル、織田病院 など |
| 5 越前地区巡回ルート | 月～金 | 5(0) | なぎさの湯、越前コミュニティセンター、織田病院、織田コミュニティセンター、アクティブハウス、織田バスターミナル など |
| 6 織田地区巡回ルート | 月～金 一部デマンド | 萩野:4(4) 上戸:4(4) 平等:4(4) | 織田病院、織田コミュニティセンター、織田バスターミナル など |
| 7 朝日地区乗り合いルート | 月・水・木 一部デマンド | 4(4) | 泰澄の杜、幸若苑、越前町役場、西田中バスターミナル など |
| 8 越前地区乗り合いルート | 月・水・金 一部デマンド | 3(3) | なぎさの湯、越前コミュニティセンター など |
| 9 織田地区乗り合いルート | 火・木 一部デマンド | 4(2) | 織田病院、織田コミュニティセンター、織田バスターミナル など |

運休日: ・日曜日

・運行便数: () 内は、デマンド方式区間のある便数

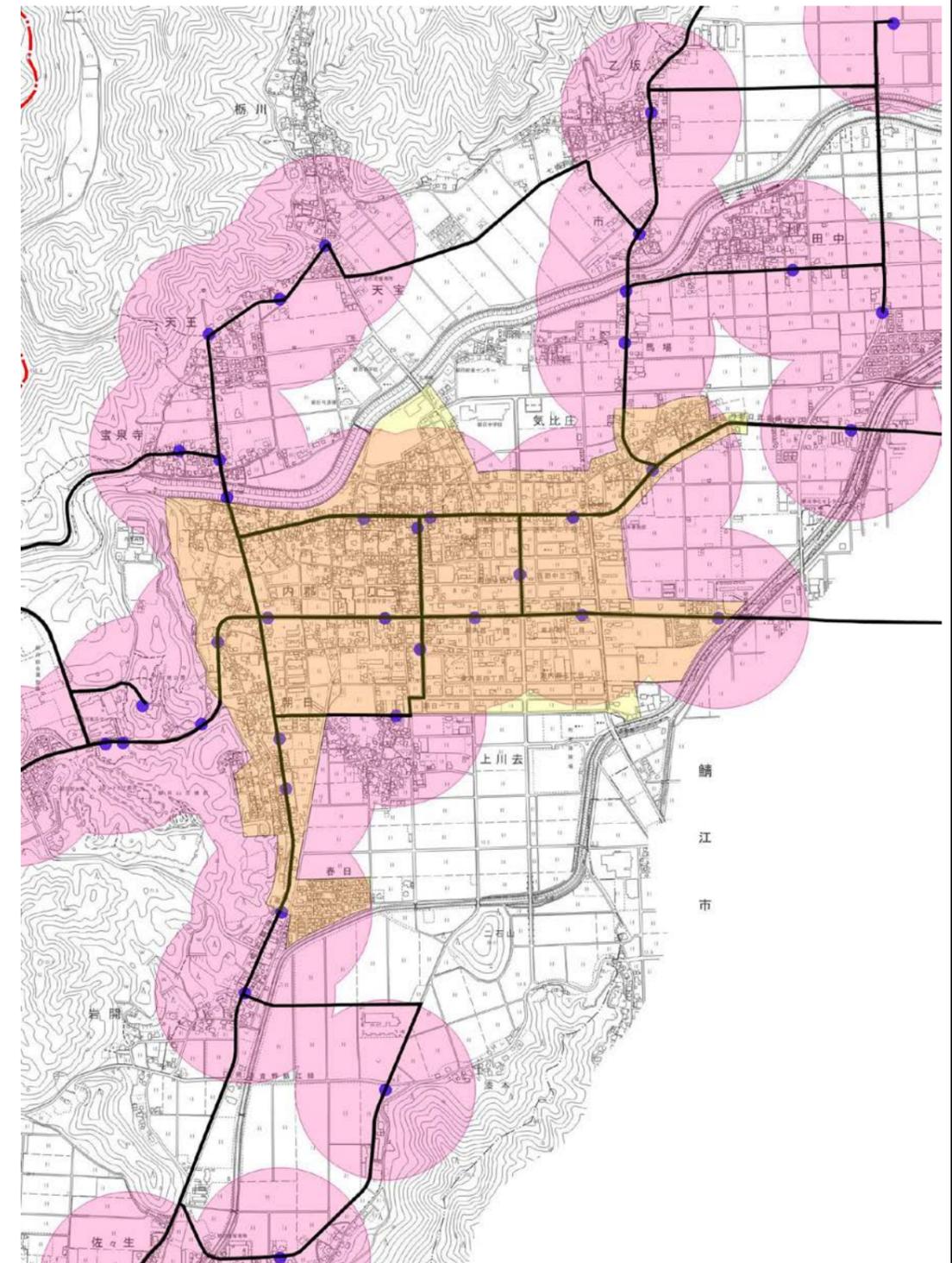
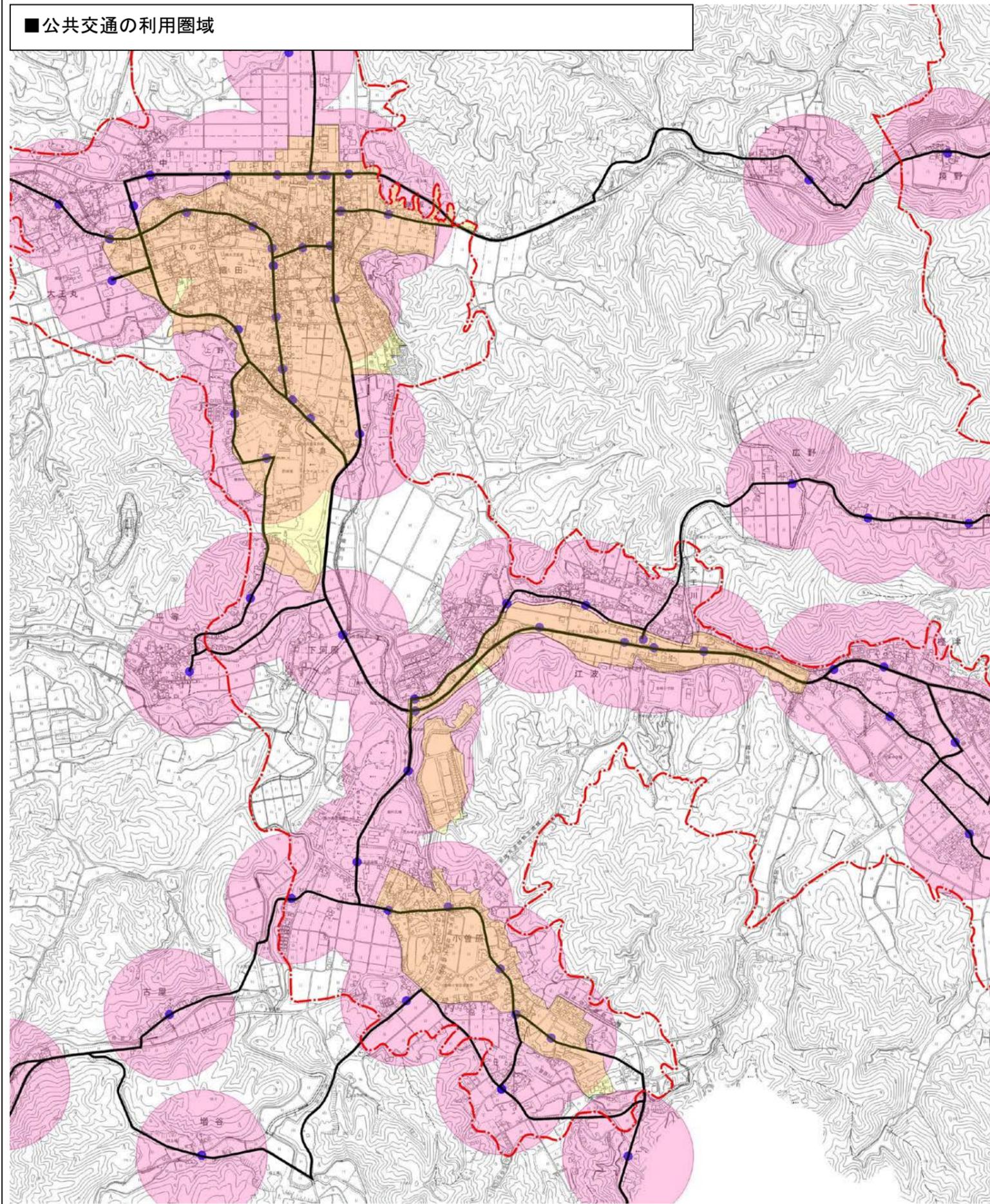
- ・年末年始(12月29日～1月3日)
- ・地区巡回ルート・乗合ルート(土曜日運休)
- ・織田地区巡回ルート(祝日運休)



※土曜日: 環状ルートのみ運行

■コミュニティバス フレンドリー号 路線図(平日、土曜日)

■公共交通の利用圏域

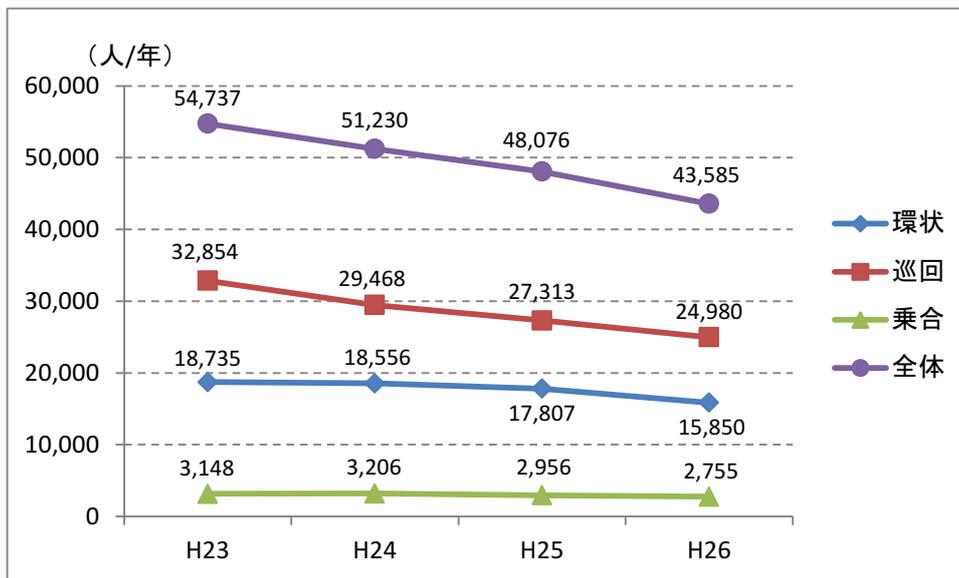


公共交通が利用できる圏域を、バス停を中心に半径 300m の範囲とすると、用途地域の指定地区は概ね含まれています。

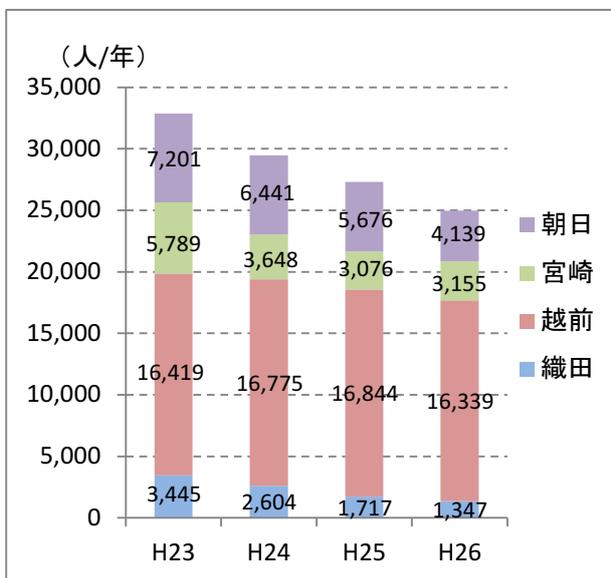
ただし、町内の移動を支える町営コミュニティバス「フレンドリー号」は、環状ルートを除いて土曜、日曜の運行がないなど、サービス水準は高くない状況です。

町営コミュニティバス「フレンドリー号」の利用状況は減少に傾向にあり、最も利用者数の多い巡回ルートが顕著になっています。これを地区別にみると、越前地区に利用者数がほぼ変わらないのに対して、他3地区の減少数が多くなっています。

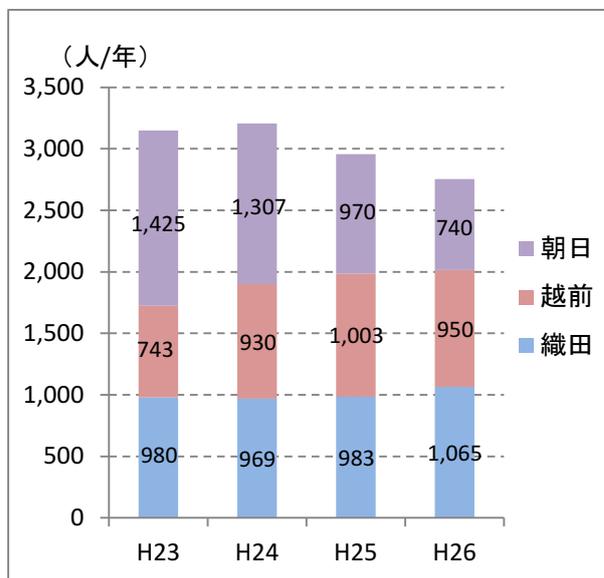
乗合ルートの利用者数を地区別にみると、朝日地区では大幅に減少しているものの、越前地区では増加しています。



■コミュニティバス「フレンドリー号」の乗車人員



■地区別の巡回バス乗車人員

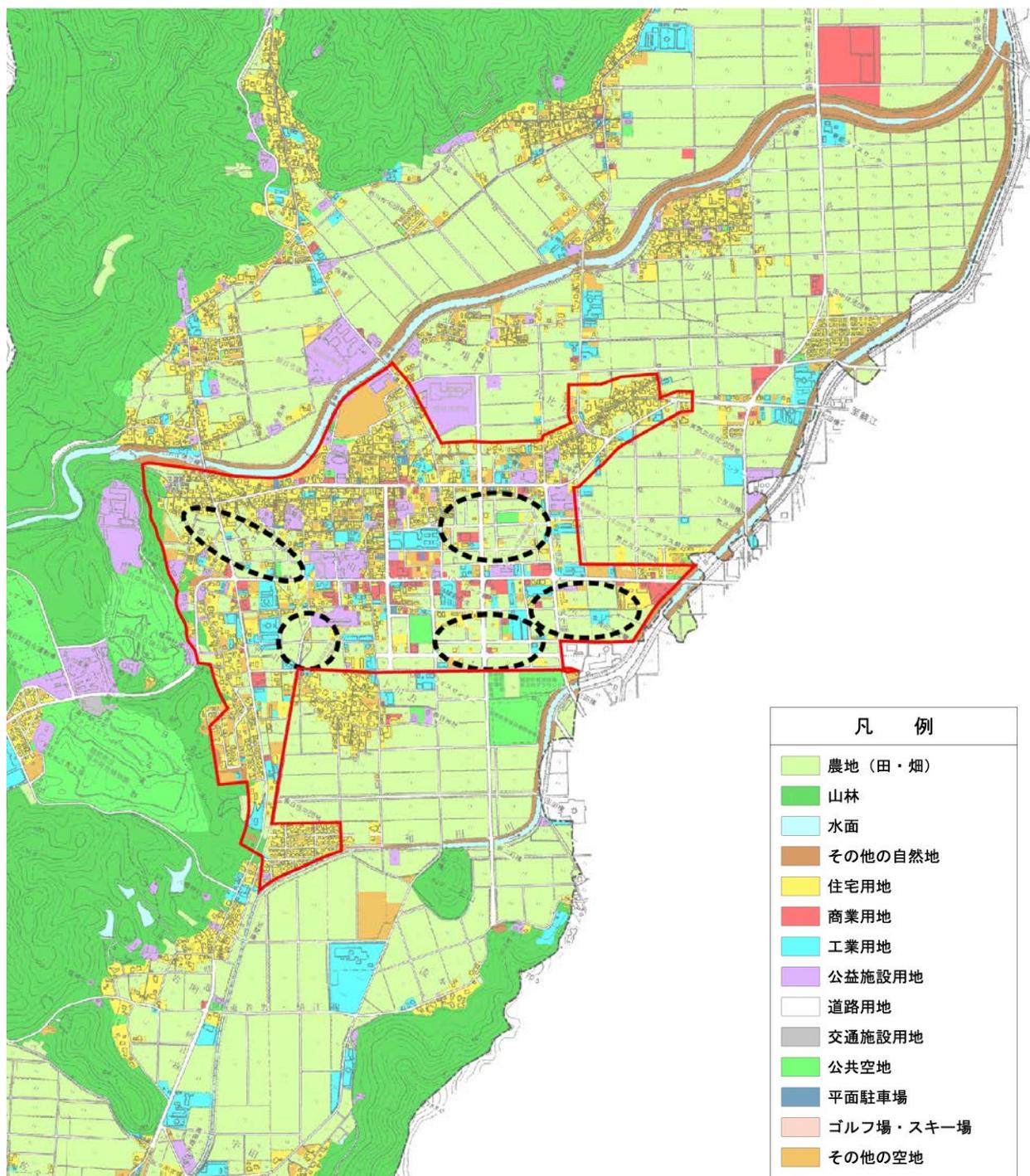


■地区別の乗合バス乗車人員

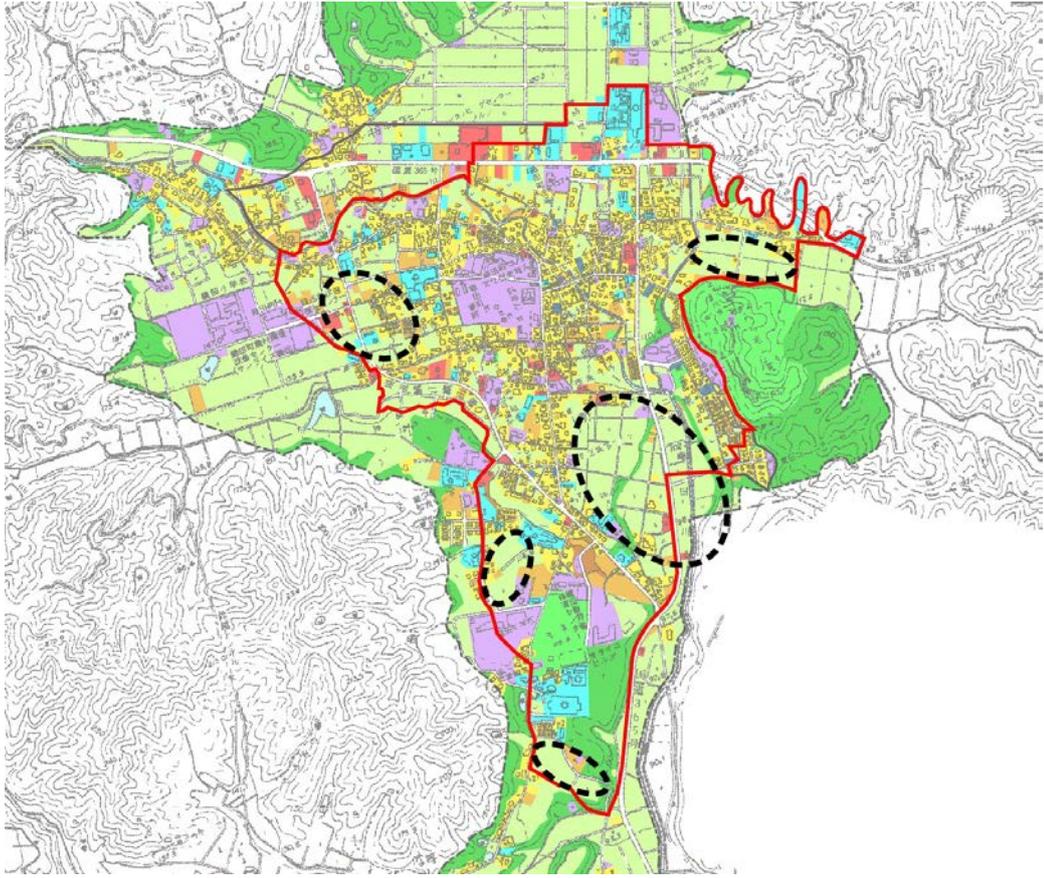
5. 一団の未利用の分布状況

各都市計画区域の用途地域指定地区における一団の未利用地の状況をみると、朝日地区には2割を超える農地があり、小規模ながらまとまった未利用地（農地）が分布しています。織田地区、宮崎地区においても、同様に一団の未利用地（農地）があります。

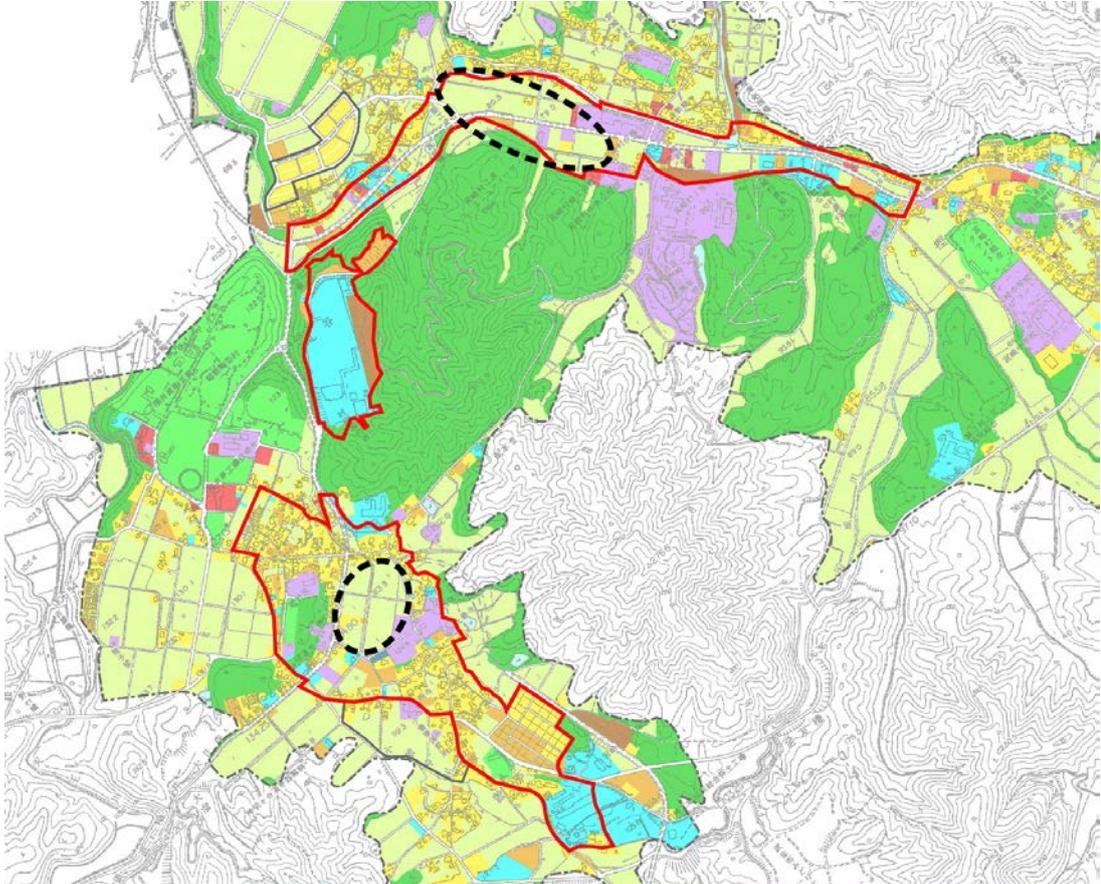
特に、朝日地区には、基盤整備が行われた地区内に農地が分布しています。



■一団の未利用地の状況（朝日地区）



■一団の未利用地の状況（織田地区）



■一団の未利用地の状況（宮崎地区）

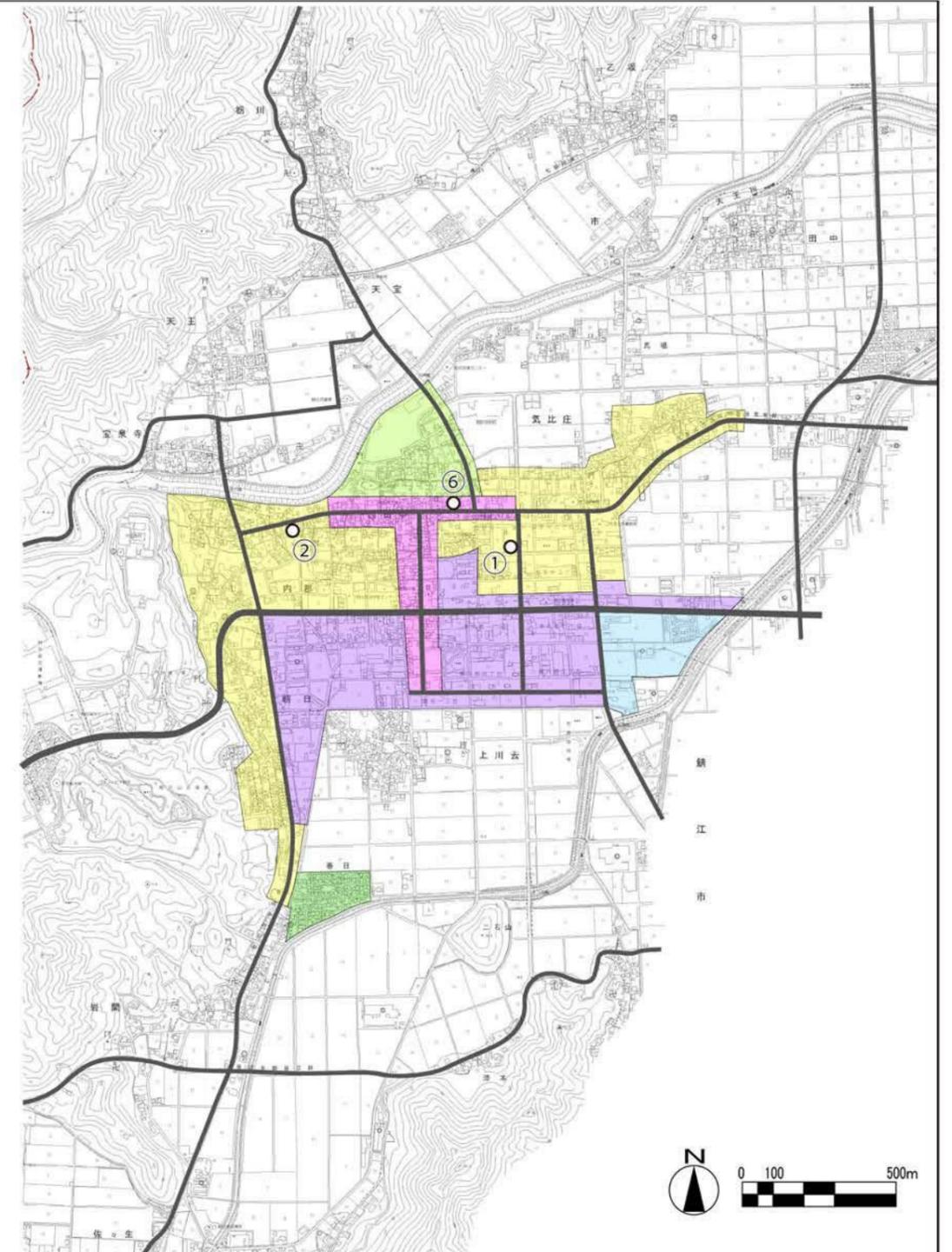
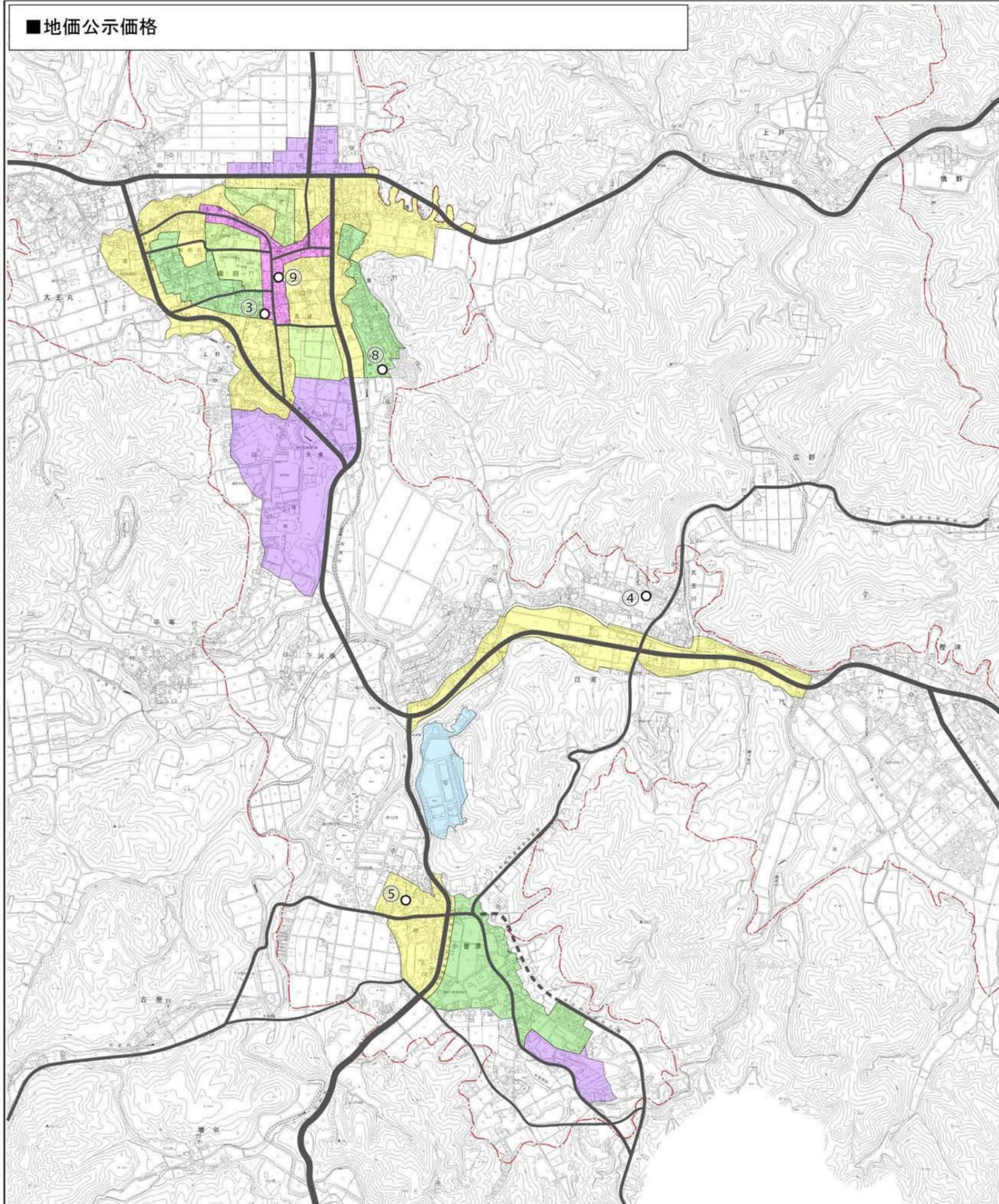
6. 地価の状況

本町の地価公示価格は、下表のとおりです。

全ての地点で公示価格は低下しています。

| | 標準地 番号 | 公示価格（円/㎡） | | | | | 用途地域 | 住居表示 |
|---|-----------|-----------|--------|--------|--------|--------|-------------|---------------|
| | | H7 | H12 | H17 | H22 | H27 | | |
| ① | 越前-1 | — | 61,000 | 49,200 | 35,300 | 28,400 | 第一種住居地域 | 西田中1丁目404番外 |
| ② | | 53,200 | 55,800 | 46,400 | — | — | 第一種住居地域 | 西田中9字シンデキ3番1外 |
| ③ | 越前-2 | 41,500 | 41,500 | 37,700 | 30,400 | 21,400 | 第一種低層住居専用地域 | 織田114字下添林6番2 |
| ④ | 越前-3 | 14,800 | 15,100 | 14,700 | 13,300 | 11,600 | 無指定 | 江波67字片山60番外 |
| ⑤ | | 12,000 | 12,200 | 12,000 | — | — | 第一種住居地域 | 小曾原18字下野65番2外 |
| ⑥ | 越前-4 | 69,500 | 73,000 | 55,000 | 39,200 | 29,600 | 近隣商業地域 | 内郡18字北三ツ屋14番1 |
| ⑦ | | — | — | — | 64,300 | — | 都市計画区域外 | 厨26字大浜12番1 |
| ⑧ | | 29,400 | 29,400 | 27,200 | — | — | 第一種低層住居専用地域 | 織田80字亀淵23番外 |
| ⑨ | | — | 72,300 | 60,500 | — | — | 近隣商業地域 | 織田98字辻3番4 |

■地価公示価格

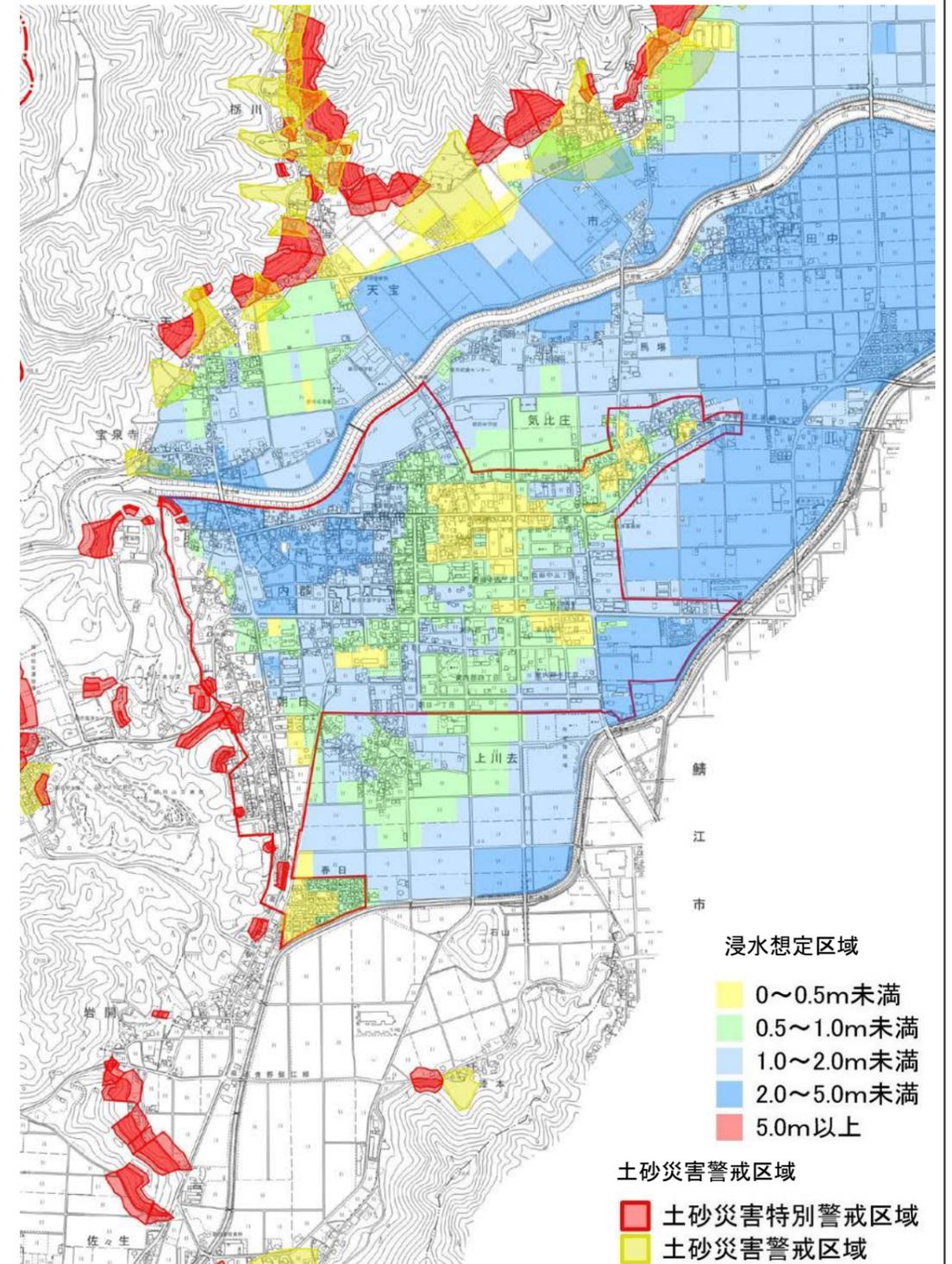
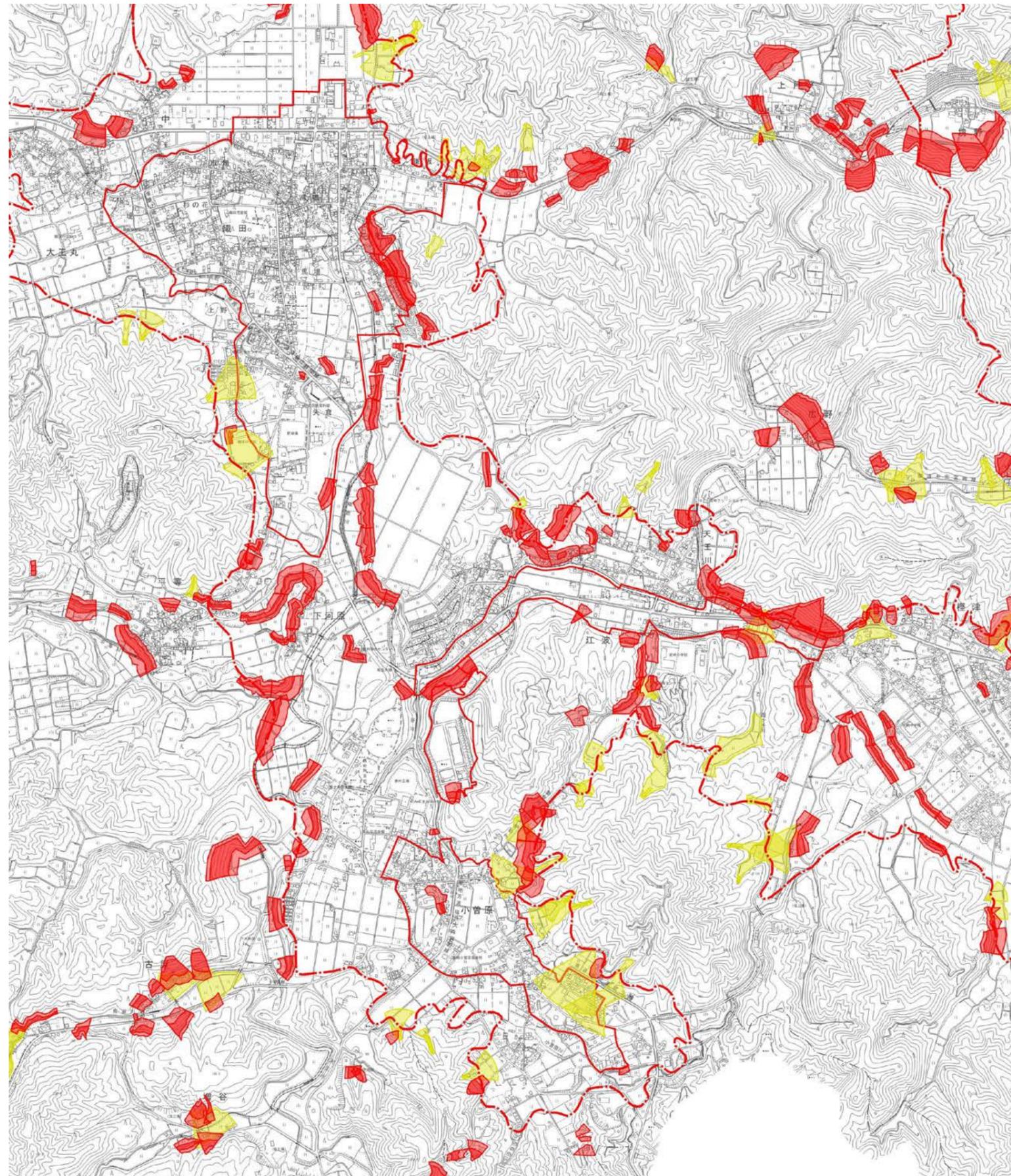


凡 例

| | | |
|--|--------------------------|--|
|  第一種低層住居専用地域 | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
|  第一種中高層住居専用地域 | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
|  第一種住居地域 | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
|  近隣商業地域 | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
|  準工業地域 | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
|  工業地域 | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| | |  都市計画区域 |

7. 災害上の危険性が懸念される区域の状況

■ 浸水想定区域、土砂災害警戒区域



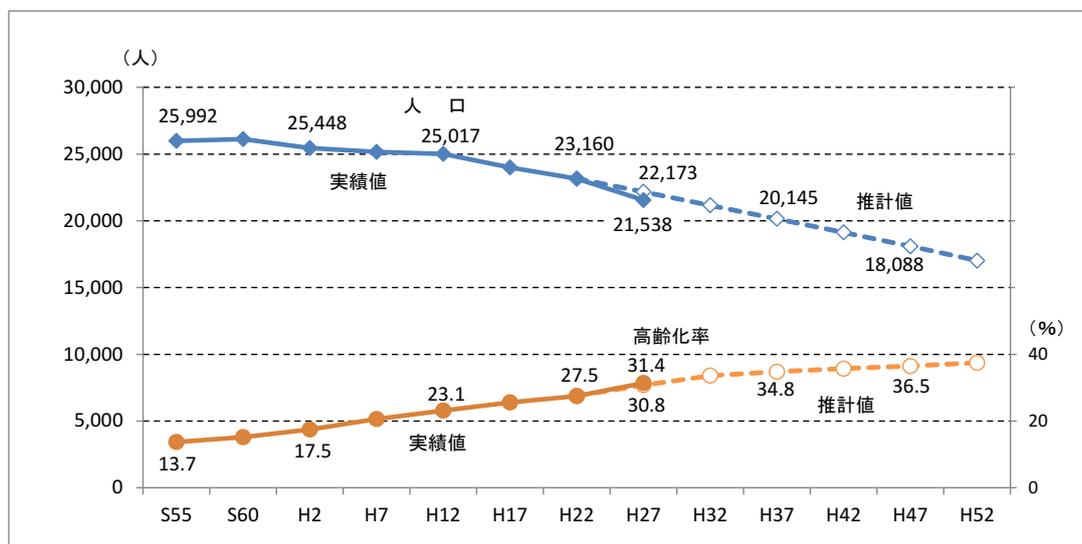
朝日地区には、天王川の洪水による浸水想定区域があり、用途地域指定地区の西側は、1から5m未満の浸水が想定されています。用途地域指定地区の東側は1m未満の浸水想定区域となっています。

また、土砂災害警戒区域は、平地と丘陵地の境界部分に指定されており、用途地域指定地区の一部にも指定されています。

8. 将来人口の見通し

(1) 全体の見通し

本町の人口の見通しについては、国立社会保障・人口問題研究所の推計によると、今後 10 年毎に 2,000 人程度減少を続け、平成 37 年には約 2 万人となり、平成 47 年には 18,000 人程度になるものと推計されています。高齢化も進み、平成 47 年には 36.5%まで上昇すると推計されています。

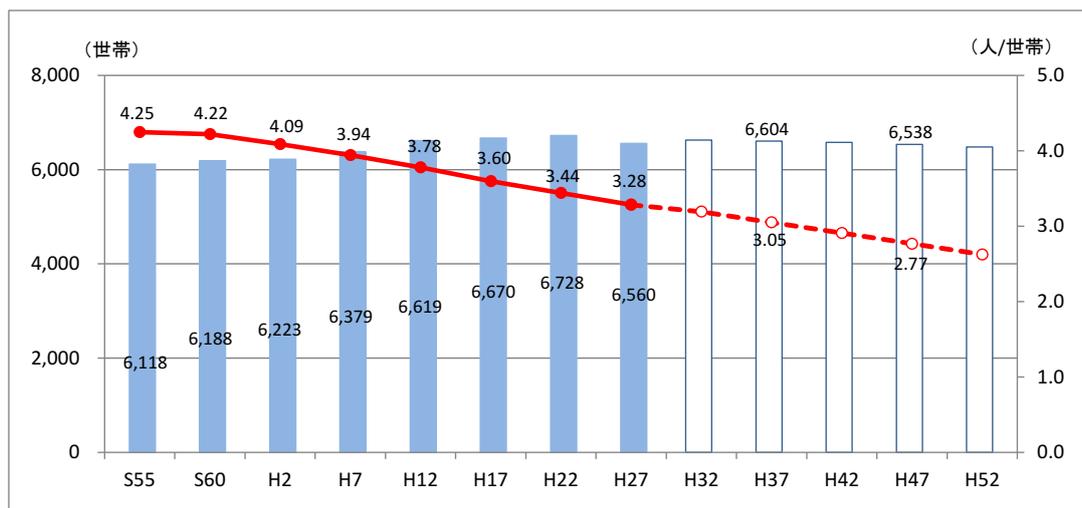


※実績値：国勢調査

※推計値 (H27～H52) は、国立社会保障・人口問題研究所の推計値

■人口の推移と見通し

世帯規模は、縮小傾向が続いています。これにより、世帯数はこれまで増加してきましたが、平成 27 年には減少に転じており、今後は微減していくことになります。



※実績値：国勢調査

※世帯規模の推計値 (H27～H52) は、昭和 55 年～平成 22 年の実績値からの推計値

※世帯数の推計値 (H27～H52) は、国立社会保障・人口問題研究所の推計値を世帯規模で除した値

■世帯数、世帯規模の推移と見通し

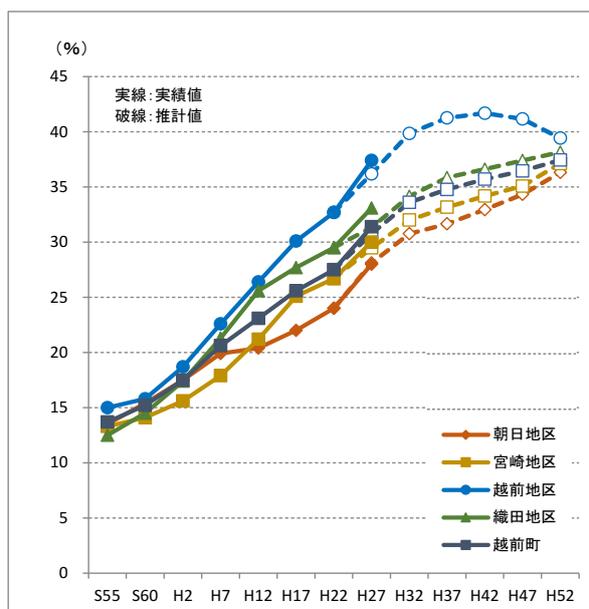
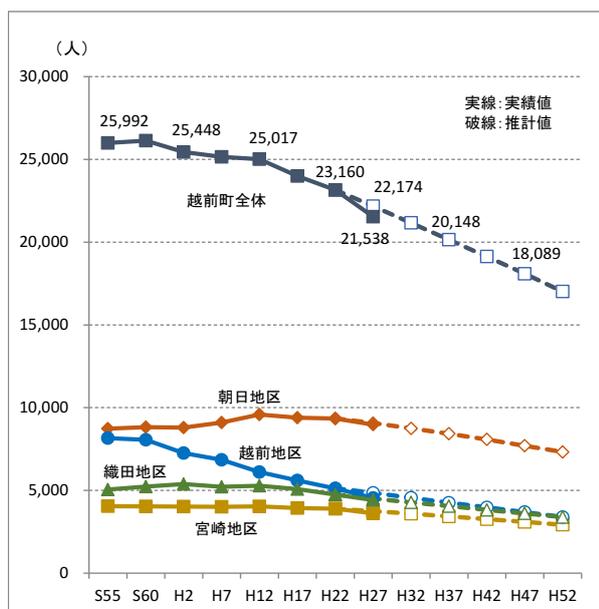
(2) 地区別及び小地域別の見通し

地区別及び小地域別の人口の見通しとして、国勢調査における小地域別の推計人口をみると、4地区とも緩やかに減少し、平成47年には朝日地区で約7,700人、宮崎地区で約3,100人、越前地区で約3,700人、織田地区で約3,600人となります。

高齢化については、越前地区では40%を超えており、それ以外の地区は35~40%にまで進行するものになっています。

■地区別の人口の見通し

| | 実績値(人) | | | | | | | 推計値(人) | | |
|------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| | S60 | H2 | H7 | H12 | H17 | H22 | H27 | H27 | H37 | H47 |
| 朝日地区 | 8,817 | 8,792 | 9,096 | 9,590 | 9,387 | 9,344 | 8,973 | 9,063 | 8,420 | 7,695 |
| 宮崎地区 | 4,030 | 4,017 | 4,002 | 4,032 | 3,932 | 3,890 | 3,608 | 3,748 | 3,425 | 3,096 |
| 越前地区 | 8,051 | 7,260 | 6,846 | 6,112 | 5,595 | 5,116 | 4,415 | 4,852 | 4,253 | 3,689 |
| 織田地区 | 5,230 | 5,379 | 5,214 | 5,283 | 5,081 | 4,747 | 4,542 | 4,511 | 4,049 | 3,609 |
| 越前町 | 26,128 | 25,448 | 25,158 | 25,017 | 23,995 | 23,160 | 21,538 | 22,174 | 20,148 | 18,089 |



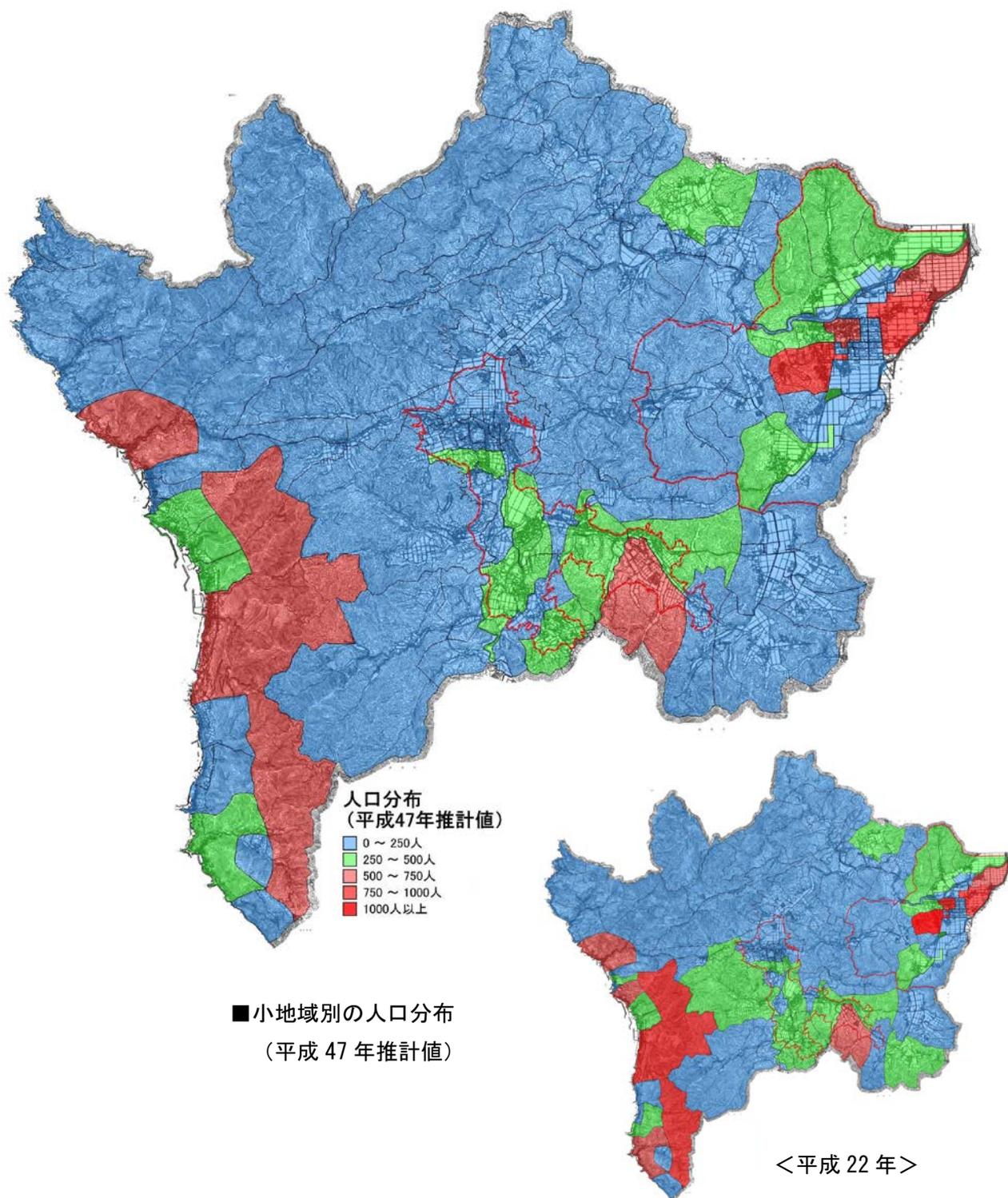
※実績値：国勢調査

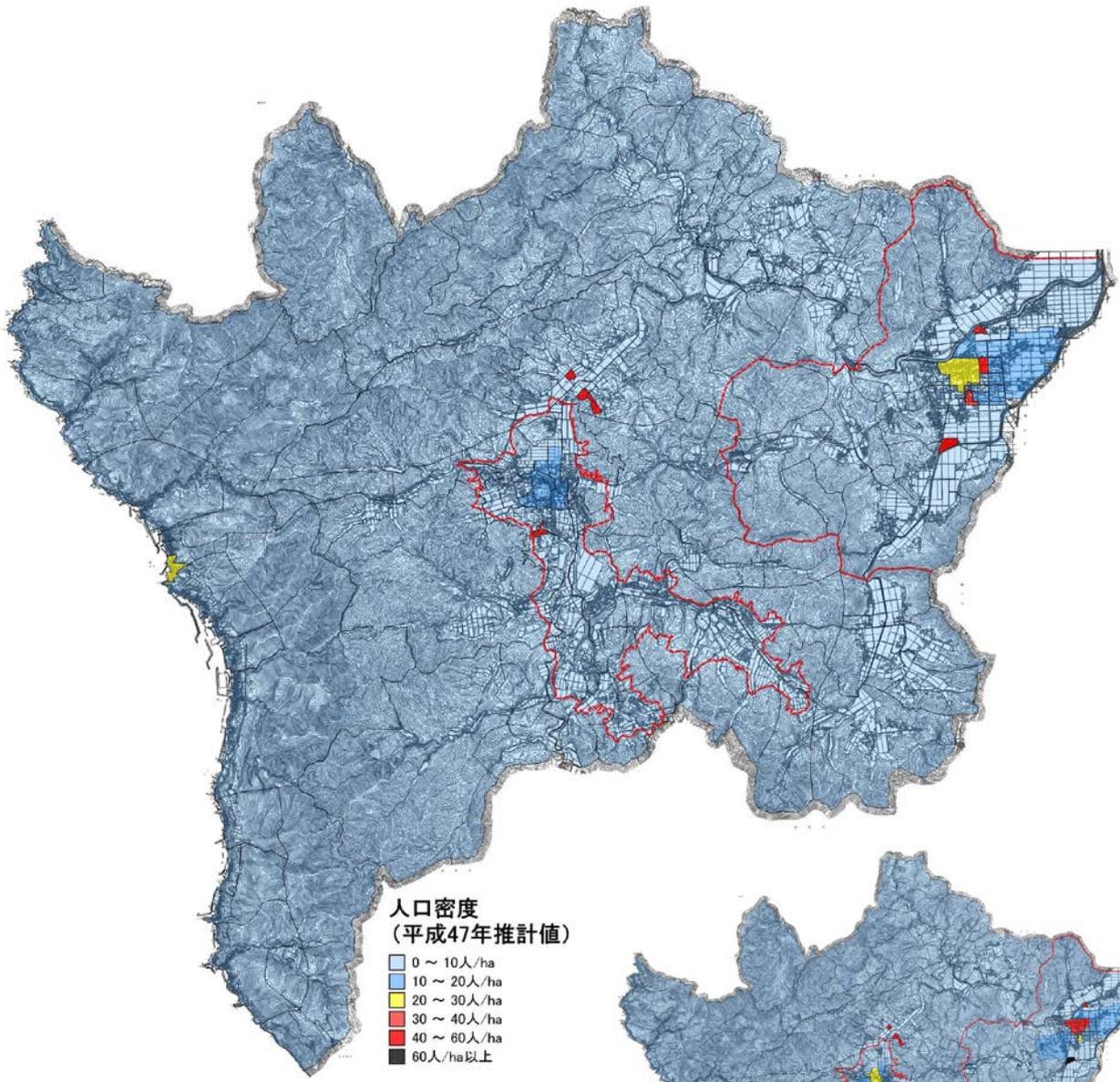
※推計値(H27~H52)は、国立社会保障・人口問題研究所の推計値

■人口の推移と見通し

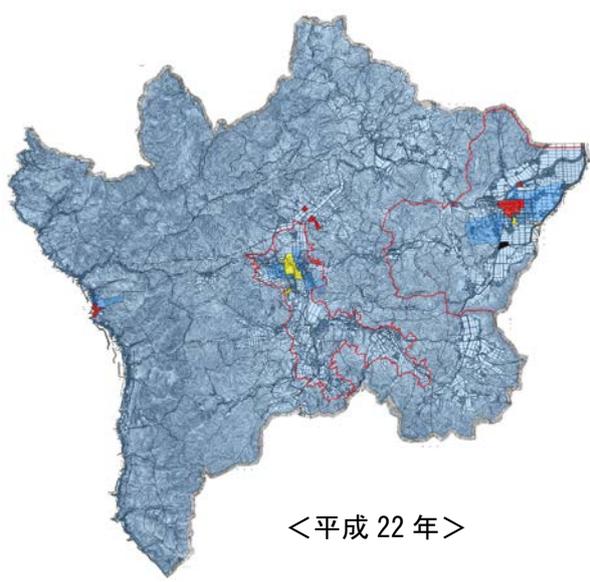
■高齢化率の推移と見通し

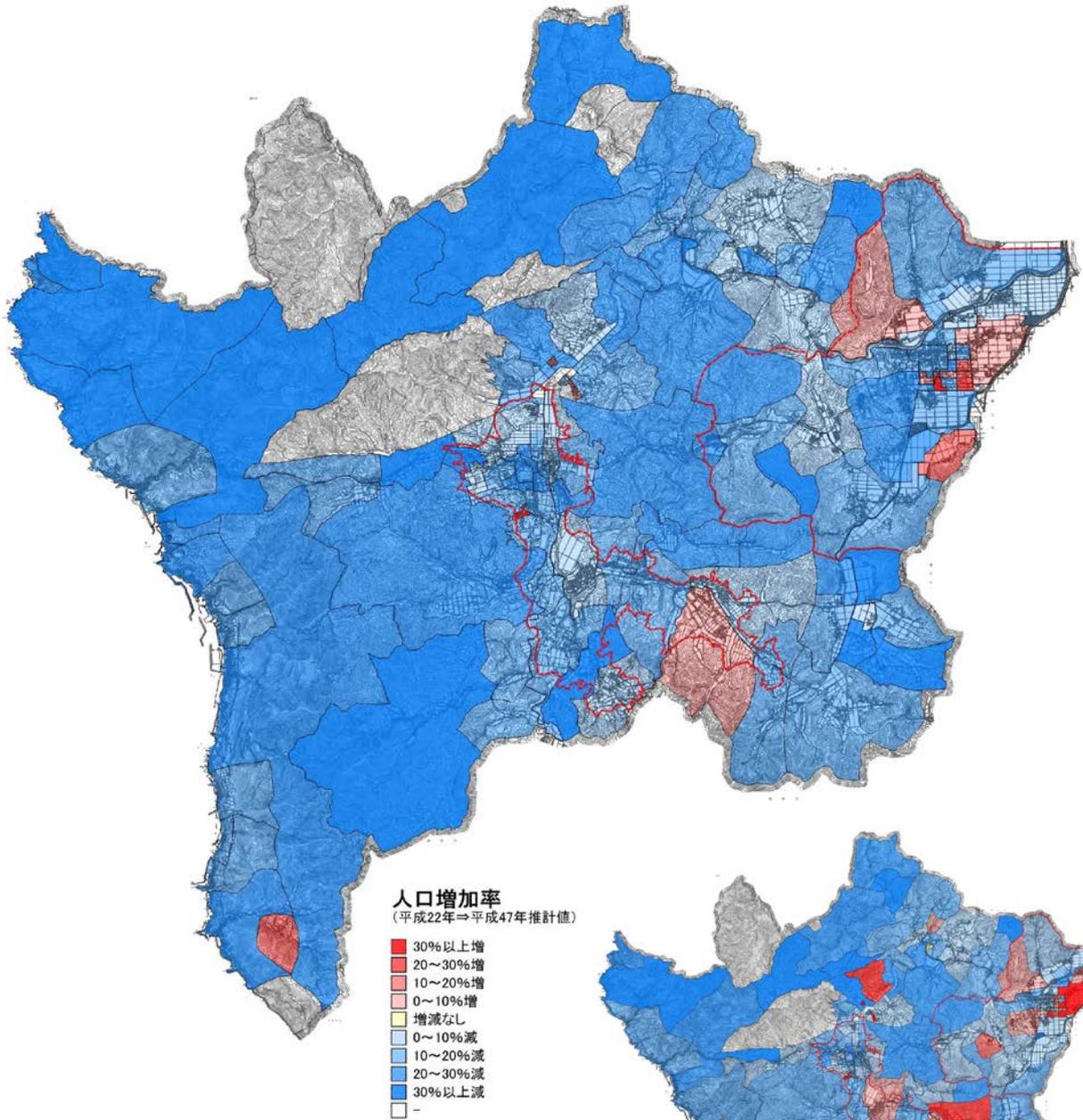
<小地域別の人口の見通し>



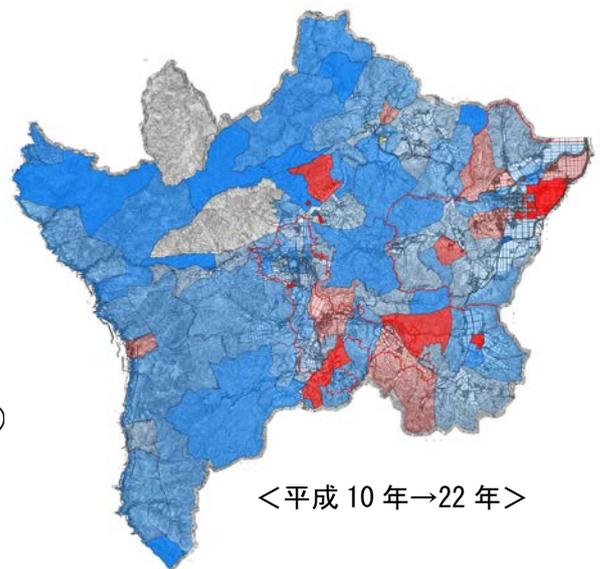


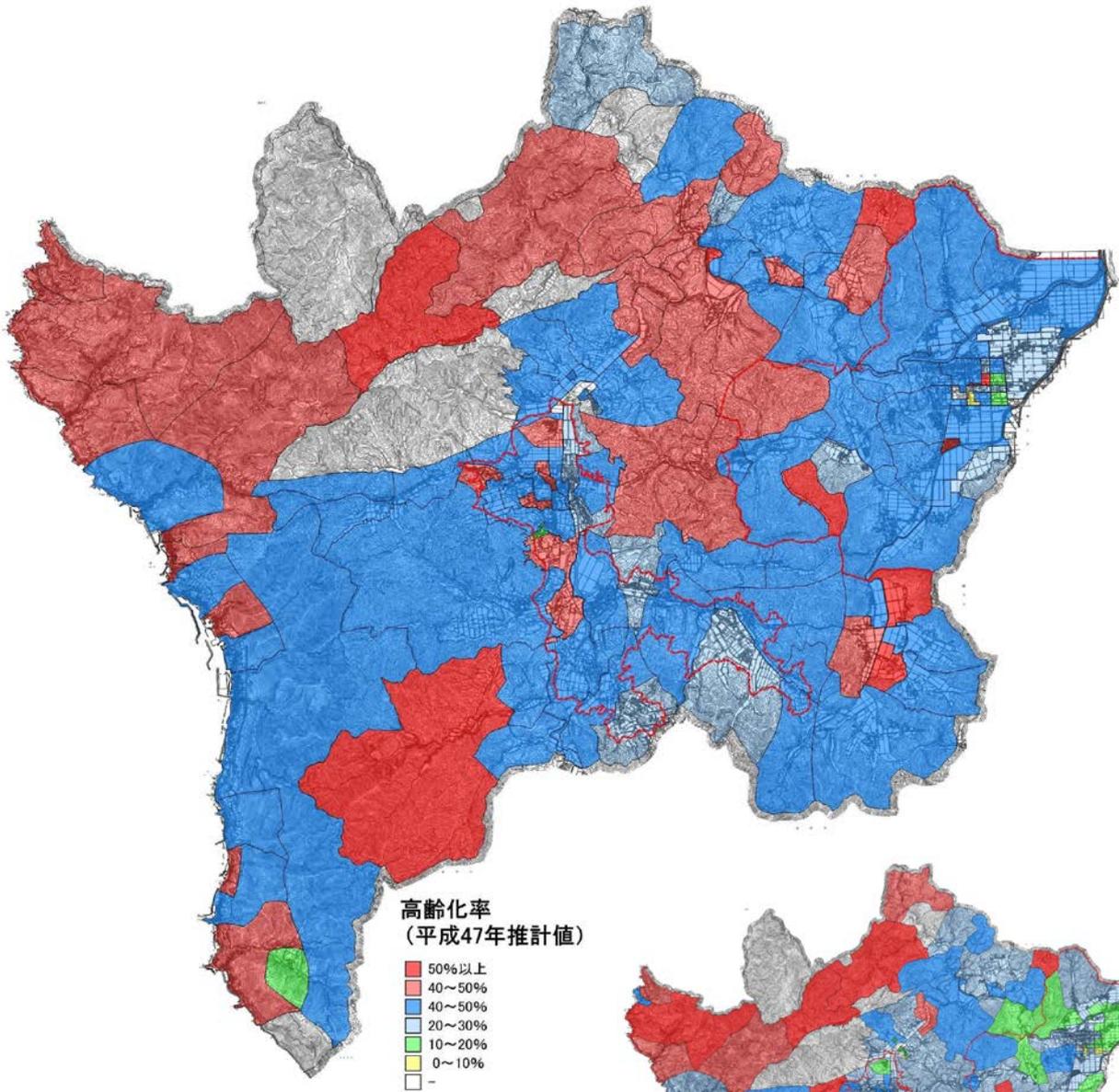
■小地域別の人口密度
(平成47年推計値)



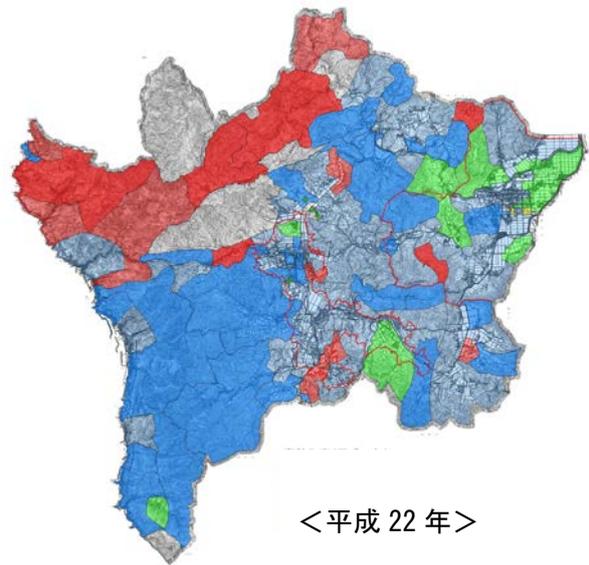


■小地域別の人口増加率
(平成22年→47年推計値)



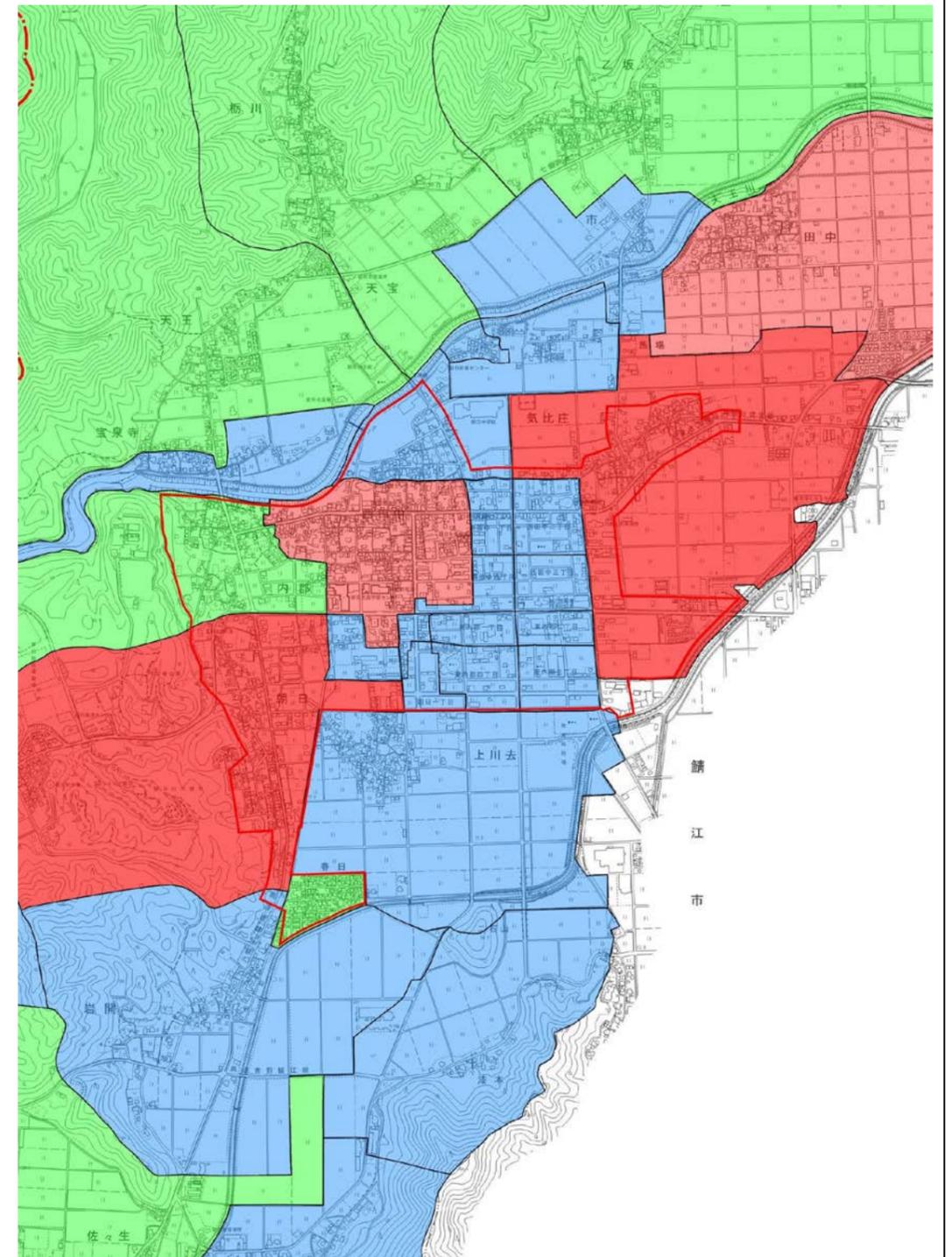
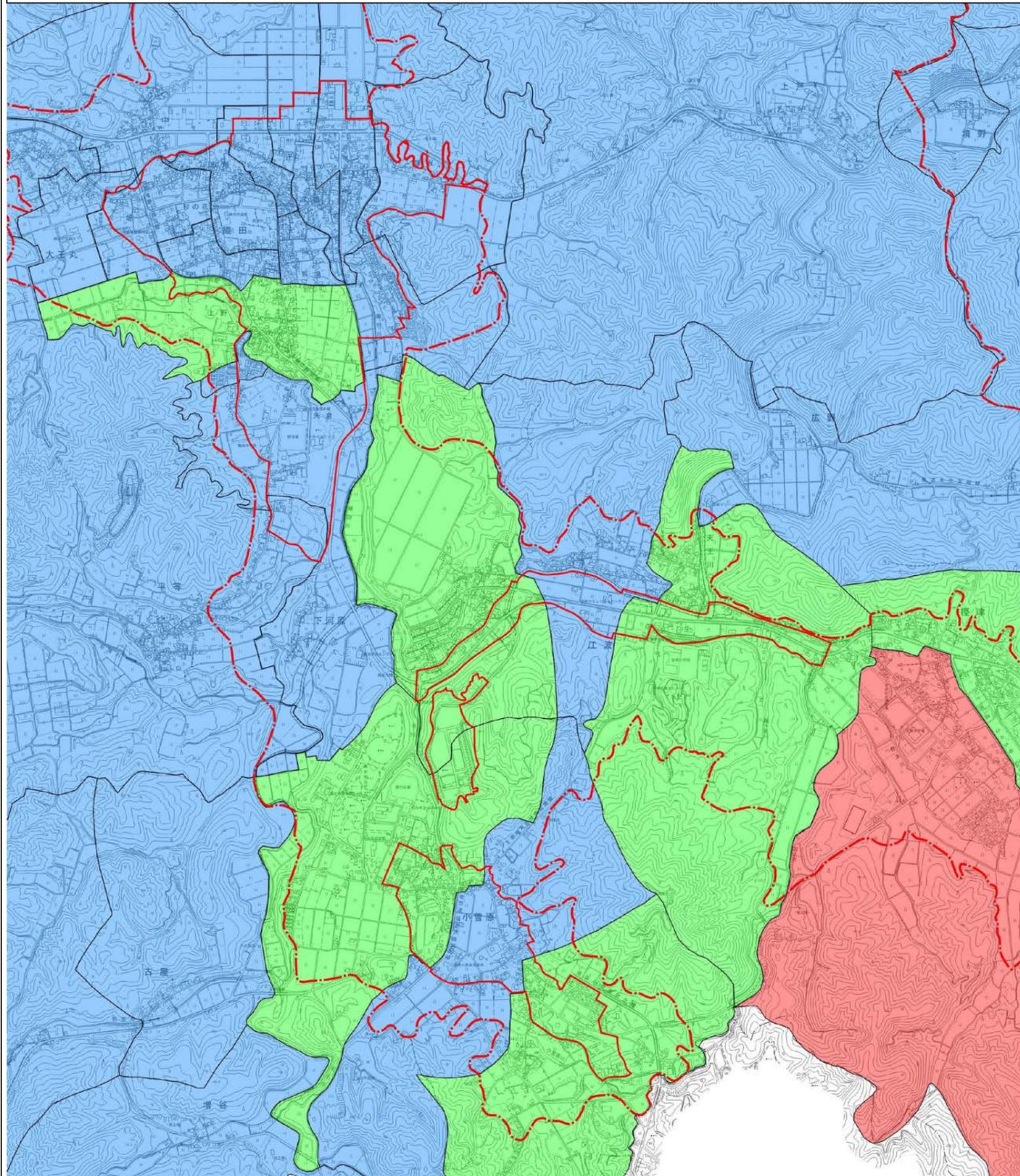


■小地域別の高齢化率
(平成47年推計値)



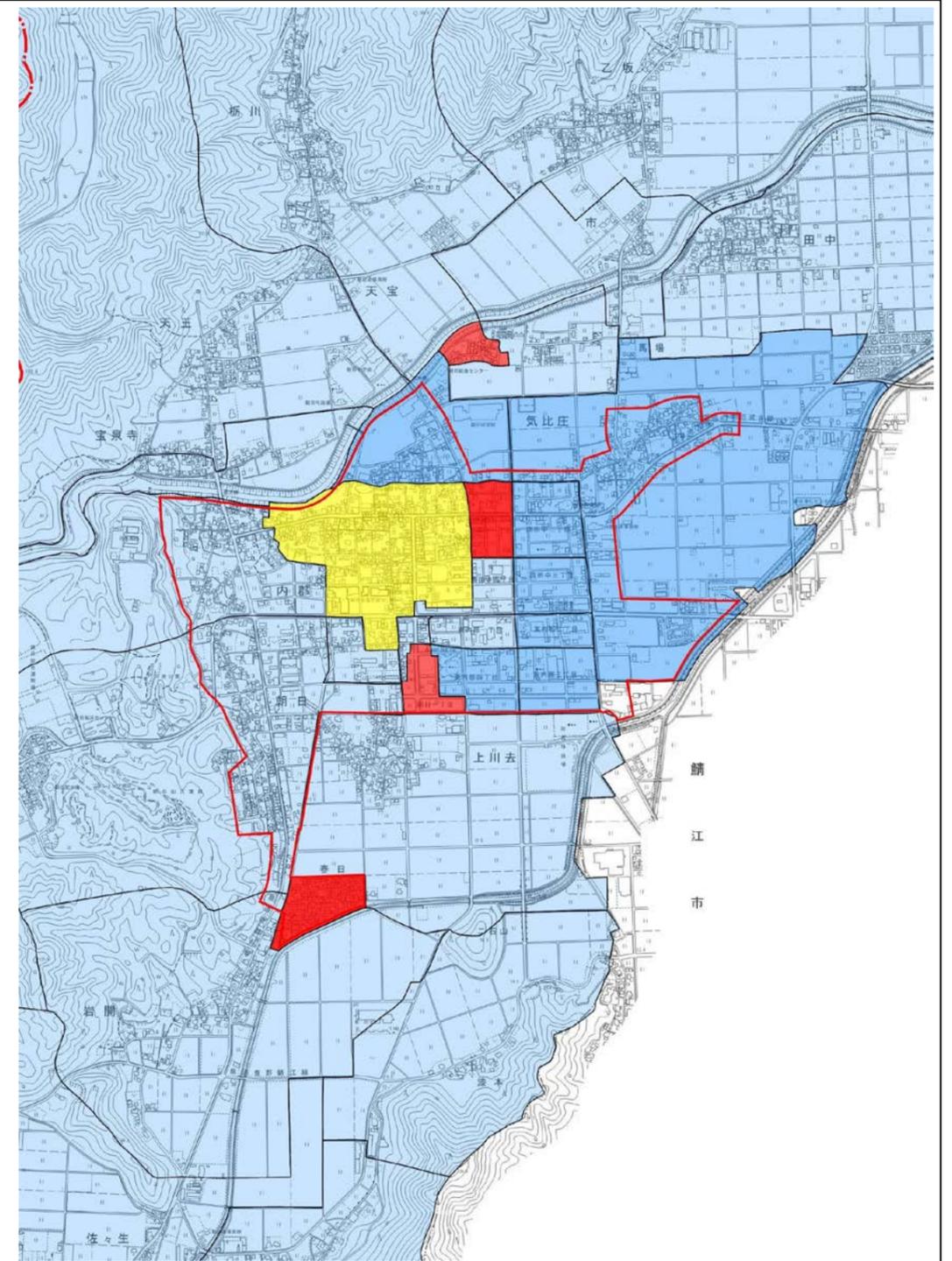
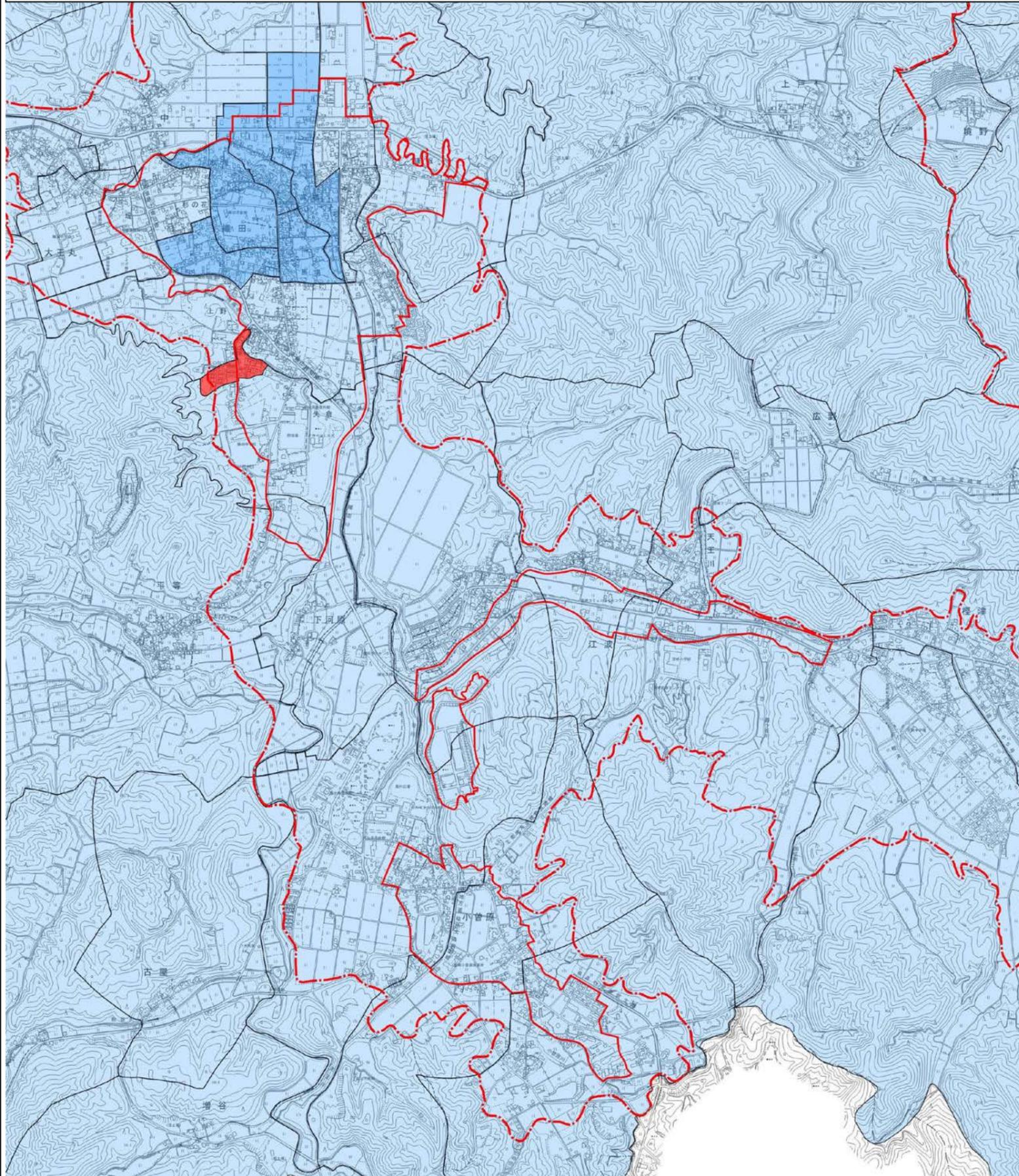
<平成22年>

■人口分布（平成 47 年推計値）



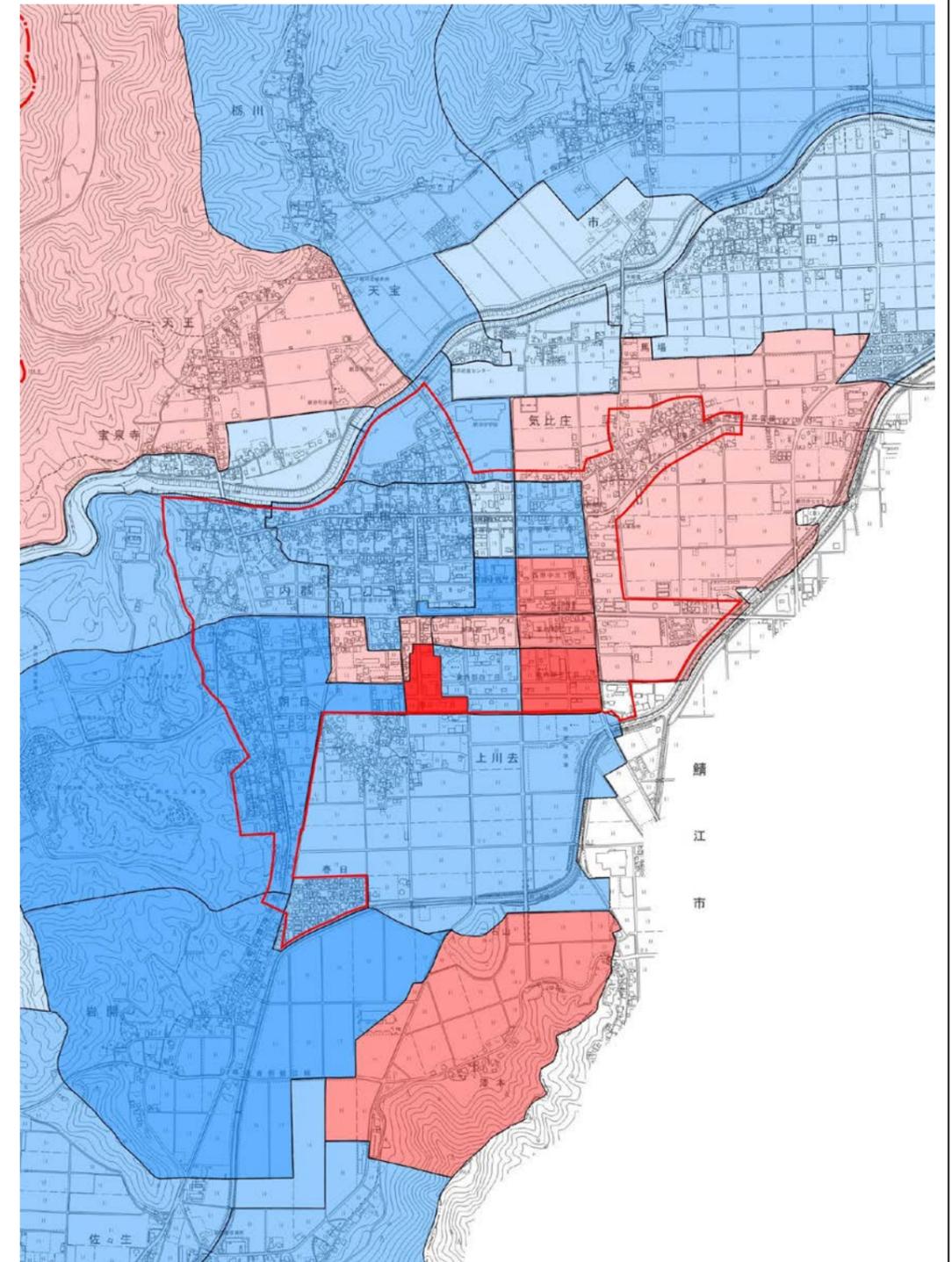
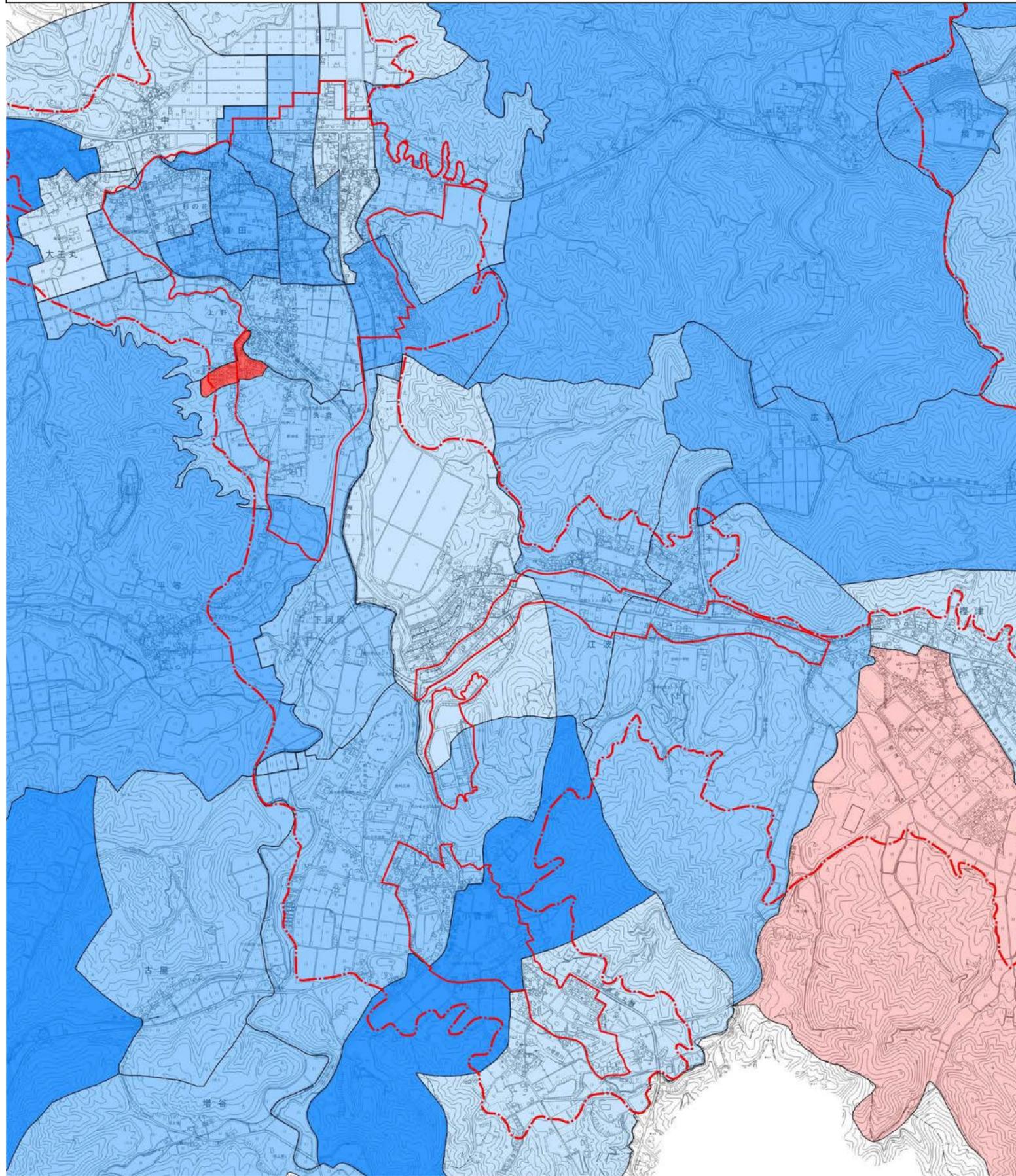
- 0 ~ 250人
- 250 ~ 500人
- 500 ~ 750人
- 750 ~ 1000人
- 1000人以上

■人口密度（平成 47 年推計値）

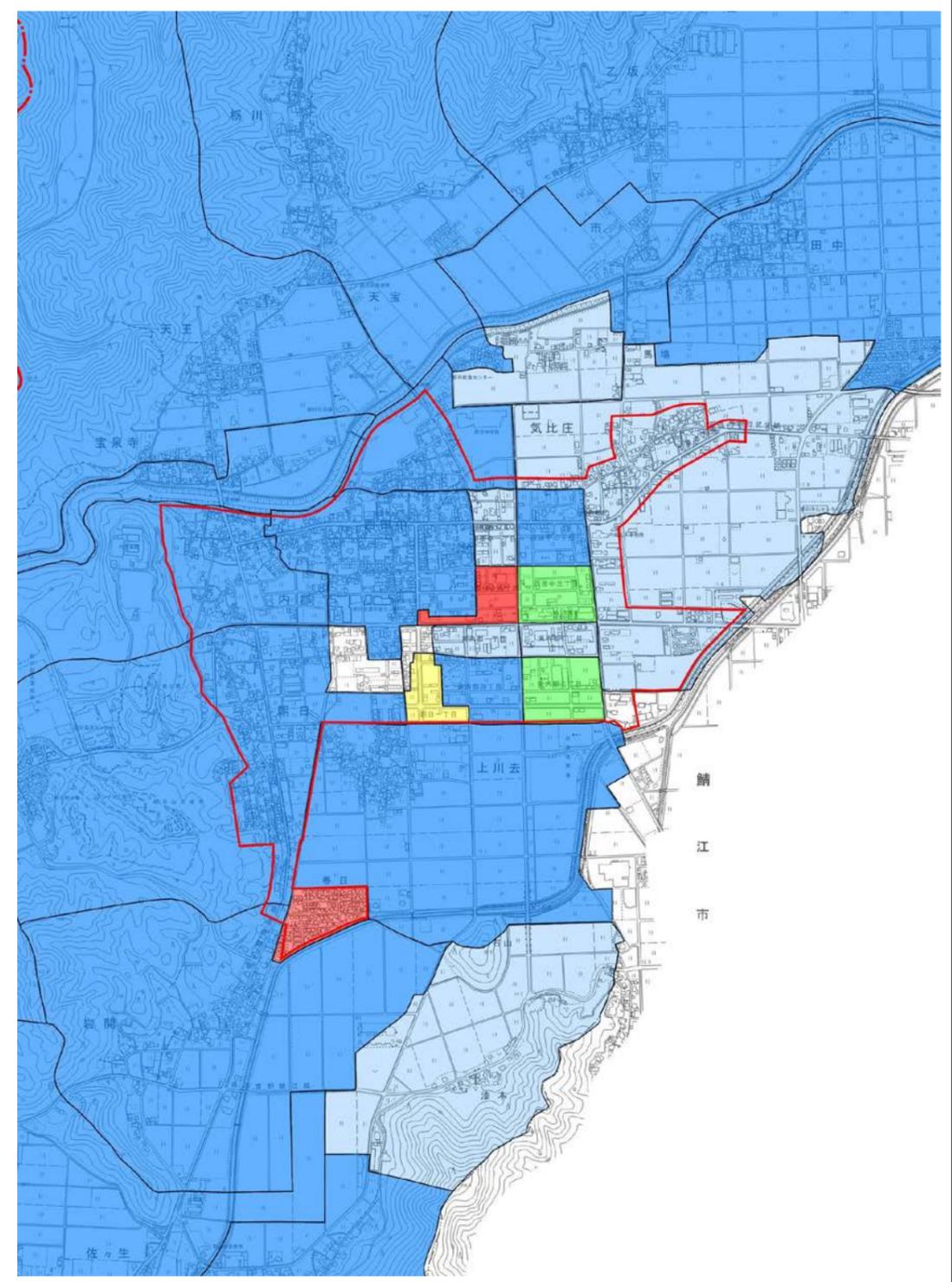
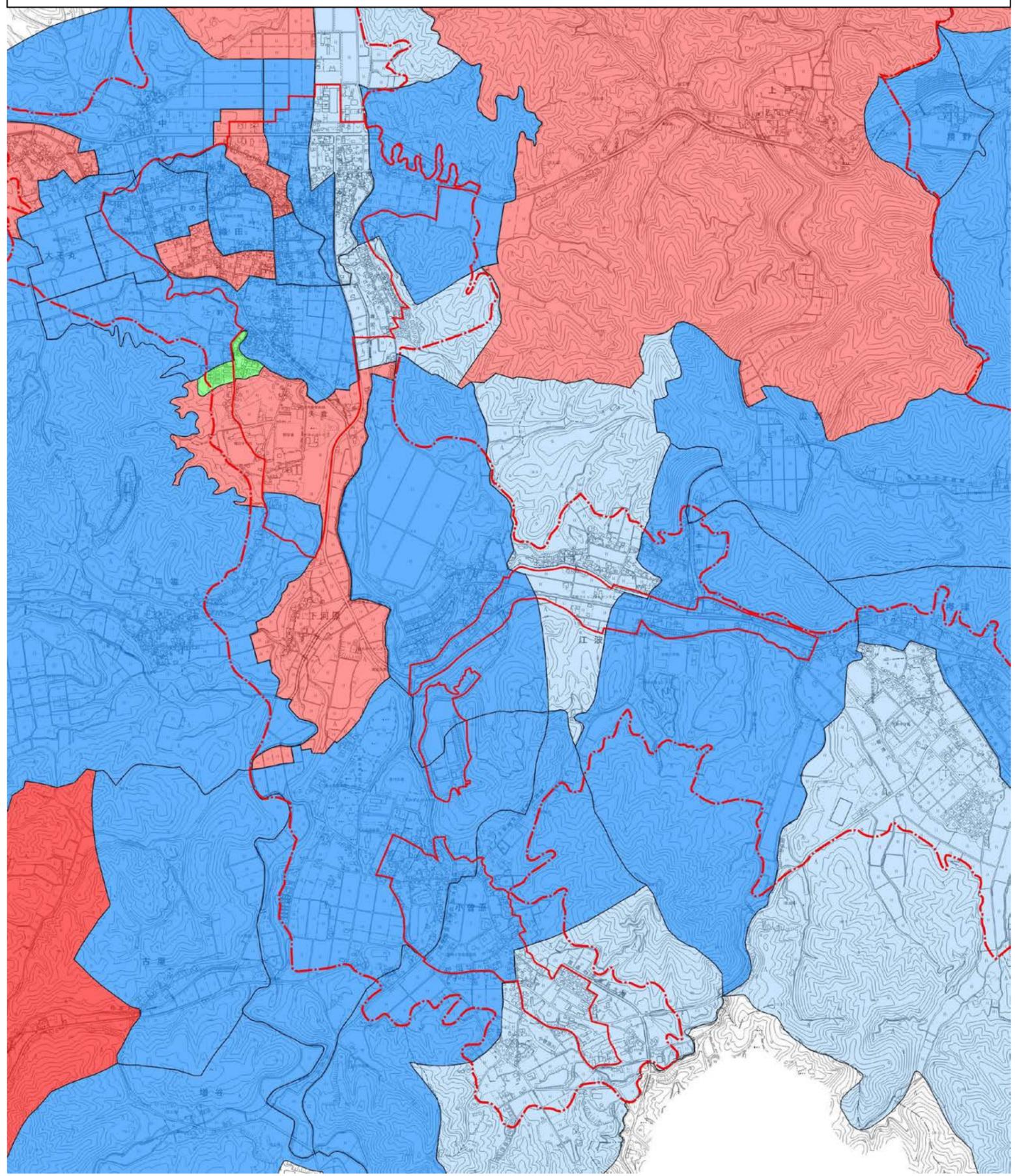


- 0 ~ 10人/ha
- 10 ~ 20人/ha
- 20 ~ 30人/ha
- 30 ~ 40人/ha
- 40 ~ 60人/ha
- 60人/ha以上

■人口増加率（平成22年→平成47年推計値）



■高齢化率（平成 47 年推計値）



- 50%以上
- 40~50%
- 40~50%
- 20~30%
- 10~20%
- 0~10%
- -